

健康福祉部

福祉計画課

課長 横内 俊哉

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	市民歩こう運動推進事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市民歩こう運動推進事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み	○	市民一人ひとりの健康づくりを支援	
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり	

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

「健康寿命延伸都市・松本」の実現に向けて、全市的に「市民歩こう運動」を推進・展開し、「歩くこと」による健康の維持増進を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- ウォーキングマップ等を活用したウォーキングイベントを35地区で実施
 - 地区ウォーキングイベント 309回 7,273人
- 推進地区で健康づくり講座を開催し、ウォーキングを実践していない市民の掘り起しと、歩く習慣の定着化を図る。
 - 健康づくり講座 4地区開催 754人参加
- 若い世代の親子を対象としたウォーキングイベントや記録紙の配布
 - 地域実践者 大人 1,291人 子ども 595人
- 働く世代を対象とした、歩きを取入れた健康づくりを、企業向けに提案
- 市民歩こう運動強調月間に広報まつもと、懸垂幕等で周知啓発

<現状に対する認識>

健康の維持増進を図るため、歩くことの必要性を啓発し、イベントの開催等によるきっかけづくりや習慣化のための仕組みづくりに取り組んできたことから、事業参加者が地区福祉ひろばを中心に、ウォーキング活動に取組むなどの活動につながっているが、事業参加者数は減少している。参加者が固定化されている傾向もあり、少子高齢化による影響がある。
 今後は、地域における活動を更に推進し、活動の担い手育成に取組み、若い世代などを含め、新たな参加者増を図りたい。

<指標の達成状況>

総合評価	B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	事業参加者延人数				
指標の設定理由	全市的に「市民歩こう運動」を展開していくため				
目標値	9,300	9,600	8,500	8,500	8,500
実績値	9,059	8,163			
達成度	97.4%	85.0%			
② 成果指標(指標名)	意識してウォーキングをしている人の割合				
指標の設定理由	歩くことによる健康の維持増進を図る客観的な数値であるため				
目標値					50.0%
実績値	22.8%	調査年でないため不明			
達成度	0.0%	-			

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,640		2,390				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	2,640		2,390				
② 人件費(千円)	2,635	人工	1337	人工		人工	
正規	1,923	0.25	759	0.1			
嘱託	713	0.25	578	0.2			
合計コスト①+②	5,275		3,727				
前年度比	-		70.7%				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	経済対策臨時福祉給付金給付事業
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	経済対策臨時福祉給付金給付事業

<事業の狙い>

事業計画年度

H28~H29

平成26年4月の消費税引上げに伴う臨時的措置である「臨時福祉給付金」について、引き続き実施するもの。(国の補助事業)

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業内容	平成26年4月の消費税率の引上げによる影響を緩和するため、低所得者に対して、制度的な対応(軽減税率の導入)を行うまでの間、暫定的・臨時的な措置として臨時福祉給付金を支給するもの。(平成29年4月~平成31年9月分の2年半分を支給)
2 給付対象	市民税(均等割)が課税されていない者 (市民税(均等割)が課税されている者の扶養親族等を除く)
3 給付額	15,000円
4 申請受付期間	平成29年4月11日 ~ 平成29年7月18日
5 支給者数	38,844人

<現状に対する認識>

制度の周知、給付対象と思われる方への申請勧奨、申請に基づく支給決定、振込等の事務について事務処理システム、業務委託等により適正に実施した。
今後について、国が新たに臨時福祉給付金給付事業を実施することについてはない(作成日時点)が、同様の制度が実施されることとなった場合、引き続き適正な事業実施を行う。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	3,610		582,687							
国・県	3,610		582,687							
利用者負担金										
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	769	人工	2,855	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	2,277	0.3						
嘱託	0	0	578	0.2						
合計コスト①+②	4,379		585,542							
前年度比	—		13371.6%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地域福祉推進事業
-------	----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	地域福祉推進事業費

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつながるまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち	主な取組み			○地域での見守りや支援の拡充で孤立を防止
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
—	—	—	松本版総合戦略			⑧成熟型社会の都市基盤づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
地域福祉活動の担い手である民生委員・児童委員活動や、地域福祉を推進している団体の活動費を補助するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞	
1 事業の実施内容	補助団体の予算規模等により、50千円～2,000千円の定額補助を実施。
2 H29年度実績(3団体)	
(1) 松本市民生委員・児童委員協議会	1,772千円
(2) 福祉ひろば	272千円
(3) 桜むね(乳がん患者の会)	50千円
合計	2,094千円
※本事業は平成29年度で終了し、平成30年度からは新制度に移行。	

＜現状に対する認識＞
地域のきずなづくりに資する地域福祉推進団体は自主財源に乏しく、活動を支援するため、行政による財政的支援が必要である。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	1,825		2,094							
国・県										
利用者負担金										
その他	1,825		2,094							
一般財源										
② 人件費(千円)	142.5	人工	144.5	人工		人工		人工		人工
正規	0		0							
嘱託	142.5	0.05	144.5	0.05						
合計コスト①+②	1,968		2,239							
前年度比	—		113.8%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金(社会福祉大会)
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民による福祉のまちづくりを推進するために、社会福祉事業の功労者等を表彰し、あわせて福祉関係の講演会等を実施する社会福祉大会の開催経費を負担するもの。
(負担金額の算出方法:事業費の2分の1以内)

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

平成29年度実施内容

- 日時 平成29年7月31日(月)13:30～
- 会場 キッセイ文化ホール 大ホール
- 主催 松本市、松本市社会福祉協議会、長野県共同募金会松本市共同募金委員会
- 後援 松本市教育委員会
- 内容
 - 表彰式典
社会福祉事業特別功労者(34名)
社会福祉事業協助者(1名)
共同募金模範協力者(3名)
 - 記念講演

<現状に対する認識>

社会福祉事業功労者等の表彰は、感謝の意を表し、更なる社会福祉向上に資するものとして実施している。また、同時に、広く市民を対象とした福祉関係の講演会を開催し、福祉活動に対する市全体の理解促進を図っている。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	500		500				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	500		500				
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工	
正規	769	0.1	759	0.1			
嘱託	0		0				
合計コスト①+②	1,269		1,259				
前年度比	—		99.2%				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	北部福祉複合施設管理
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	北部福祉複合施設管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

施設の円滑な維持管理と社会福祉の向上

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

施設利用者の利便性、安全性を考慮した施設の維持管理

管理者 松本市社会福祉協議会
管理方法 業務委託

<現状に対する認識>

北部福祉複合施設は開館から約20年が経過し、施設及び設備等に経年劣化が見られ、修繕が必要となっている。北部福祉複合施設は、北部保健センター・城東公民館・北部デイサービスなどがあり地域福祉の拠点であることから、修繕を計画的に実施し、施設の長寿命化を図る必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	17,867		18,704				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	17,867		18,704				
② 人件費(千円)	2,592	人工	2,566	人工		人工	
正規	2,307	0.3	2,277	0.3			
嘱託	285	0.1	289	0.1			
合計コスト①+②	20,459		21,270				
前年度比	—		104.0%				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	南部福祉複合施設
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	南部福祉複合施設管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

施設の適切な管理運営と社会福祉の向上

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

施設利用者の利便性、安全性を考慮した適切な管理運営

管理者 福祉計画課
管理方法 直営

<現状に対する認識>

南部福祉複合施設は、Caféポリジ、松本圏域障害者総合相談支援センターWISH、南ふれあいホーム、松南地区福祉ひろば、南部保健センター、あるぷキッズ支援室などがあり、障害福祉や児童福祉、地域福祉等の拠点施設であることから、施設利用者の利便性及び安全性を考慮した施設の維持管理が必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	8,645		9,693				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	8,645		9,693				
② 人件費(千円)	3,162	人工	3,144	人工		人工	
正規	2,307	0.3	2,277	0.3			
嘱託	855	0.3	867	0.3			
合計コスト①+②	11,807		12,837				
前年度比	—		108.7%				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	総合社会福祉センター
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	総合社会福祉センター管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

施設の適切な管理運営と社会福祉の向上

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 施設利用者の利便性、安全性を考慮した施設の管理運営
(1) 管理者 松本市社会福祉協議会
(2) 管理方法 指定管理(特命)
2 大規模改修による施設の長寿命化 昭和58年の開館から30年以上が経過し、経年劣化の激しい設備の改修を 実施するもの
(1) 事業内容
ア 改修機械設備工事 トイレ改修、衛生器具更新、給排水配管更新、受水槽更新等を行なうもの
イ 改修電気設備工事 各階既設照明更新(LED化)、電気幹線改修、電灯動力盤更新、防災設備更新等を行なうもの
(2) 工事期間 平成29年度～平成31年度(3力年)

<現状に対する認識>

総合社会福祉センターは、障害、児童、高齢福祉や地域福祉の拠点施設として昭和58年に開設したが、開設から30年以上が経過し、老朽化が著しい設備の改修が必要となり、現在工事中である。冷暖房設備の更新、トイレの洋式化、照明のLED化等により施設の快適性向上と長寿命化を図っている。設備改修工事終了後は、建物の長寿命化について検討する。また、施設管理の次期指定管理者は公募での選定を予定している。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	77,370		201,734							
国・県										
利用者負担金										
その他	11,770		161,150							
一般財源	65,600		40,584							
② 人件費(千円)	2,592	人工	2,566	人工		人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3						
嘱託	285	0.1	289	0.1						
合計コスト①+②	79,962		204,300							
前年度比	—		255.5%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(福祉計画課)
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

地域福祉を推進する団体、更生保護活動をする団体等は、自主財源が乏しいため、行政による財政的支援をし、その活動を支援するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1. 平成29年度実績額(千円)

(1)社会福祉協議会	149,630
(2)民生児童委員協議会	550
(3)生活福祉資金貸付金利子補給	39
(4)保護司会	414
(5)そえ木の会	100
<合計>	150,733

2. 内容

(1)社会福祉協議会:
総務および地域福祉関係の人件費に対する助成

(2)民生児童委員協議会:
民生委員・児童委員の活動に対する補助

(3)生活福祉資金貸付金利子補給:
生活福祉資金償還に係る利子相当額

(4)保護司会:
犯罪や非行をした人の立ち直りを支える保護司の活動に対する補助

(5)そえ木の会:
犯罪や非行をした人の立ち直りを支える協力雇用主活動に対する補助

<現状に対する認識>

地域福祉を推進している社会福祉協議会、社会福祉向上のための民生委員活動、生活困窮時の一時的な貸付、犯罪や非行をした人の立ち直りを支える更生保護活動等、いずれも福祉の観点から重要な活動を補助するものであり、今後も必要性が高い。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	150,652		150,733				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	150,652		150,733				
② 人件費(千円)	1,054	人工	1,048	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1	759	0.1			
嘱託	285	0.1	289	0.1			
合計コスト①+②	151,706		151,781				
前年度比	—		100.0%				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(中信社会福祉協会)
-------	---------------

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞

事業計画年度

～

障害者福祉の充実のため

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

中信社会福祉協会が建設した、身体障害者療護施設「ささらの里」の建設にかかる償還費の補助金

- 概要
 - 住所 松本市内田200番地
 - 施設内容
 - 身体障害者療護施設 定員50名
 - デイサービスセンター 通所8名
 - 構造 鉄筋コンクリート造平屋建 2,859.76㎡
 - 償還期間 平成29年度まで
- 借入金償還に係る市町村補助
 - 補助区分
 - 用地取得費 建設地である松本市が全額補助
 - 療護施設建設費 4市3郡の市町村による按分
 - デイサービスセンター建設費 利用主体である松本市が全額補助
 - 補助基準

均等割 20%、人口割 80%

※平成29年度で終了

＜現状に対する認識＞

構成4市3郡の一つ、また利用主体として負担する必要があることから、これまで補助を行ってきたもの。

＜指標の達成状況＞

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	18,929		18,585							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	18,929		18,585							
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1						
嘱託	0	0	0							
合計コスト①+②	19,698		19,344							
前年度比	—		98.2%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業
-------	--------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち
基本施策(個別目標)	113	ソーシャルキャピタルを活かした健康づくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み	〇町会との協働による支えあえる地域づくり		
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

28 ~

地域づくりによる介護予防の研究を目的とする、日本老年学的評価研究(JAGES)プロジェクトに参加し、市内の要介護認定を受けていない高齢者に対し、調査を行う。調査結果を分析し、介護保険データとの関連性、他自治体との比較や市内地区間の比較などを行い、本市の健康づくり・介護予防事業の評価・再構築のデータとして活用するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 「健康とくらしの調査」実施(平成28年度実施)
65歳以上で要介護認定を受けていない高齢者7,000人(35地区×200人)に対して健康状態、生活習慣、要介護リスク、社会関係等の質問を行い、地域づくりによる健康づくりの可能性について調査
回答数 4,481件、回答率 69.7%
- 調査結果の分析、共有等(平成29年度実施)
 - 調査結果を庁内で共有するための研修会実施 2回
 - 調査結果報告会実施 1回
 - 各地区で調査結果を分析、準備の整った地区から住民と結果を共有

<現状に対する認識>

調査結果を関係職員が共有し、その背景要因について分析・考察することで、地域の特性に応じた健康づくり・介護予防事業を、あらゆる部局で立案することが可能となります。
あわせて、社会教育の手法を通じて結果を住民とも共有していくことで、地区課題に対する住民主体の取組みを促し、それが地域づくり(ソーシャル・キャピタルの醸成)へとつながり、さらにソーシャル・キャピタルを活かした健康づくりへと好循環します。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	調査結果を用いた住民向け学習会				
指標の設定理由	地域の特色に応じた、住民の主体的な取組みを促すため				
目標値	0	3	20	35	35
実績値	0	14			
達成度	-	466.7%			
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	7,220		90							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,220		90							
② 人件費(千円)	2307	人工	1,952	人工		人工		人工		人工
正規	2307	0.3	1,518	0.2						
嘱託	0		434	0.15						
合計コスト①+②	9,527		2,042							
前年度比	-		21.4%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金(福祉計画課)
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

高齢者福祉の向上

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松塩安筑老人福祉施設組合、松塩筑木曾老人福祉施設組合の施設建設にかかる組合償還債の負担金

- 松塩安筑老人福祉施設組合
 養護老人ホーム温心寮建設分(H21年11月移転改築)
 [施設概要]
 延床面積 5,820.55㎡、定員 110人(入所100人、短期10人)
 組合構成 松本市、塩尻市、安曇野市、東筑摩郡
 総事業費 1,943,839千円
 負担金内容 均等割 20%、人口割 80%
 H29年度負担金 24,426千円

- 松塩筑木曾老人福祉施設組合
 (1) デイサービスセンター建設費分
 (デイサービスセンタージョイフル岡田建設分(建設・土地))
 H29年度負担金 16,342千円
 (2) 建設事業長期償還分(特別養護老人ホーム 岡田の里、ちくまの)
 組合が特養建設の際に借入した組合償還債の負担分
 ・「用地分」は所在市町村が負担
 ・「併設施設分」は関係市町村で按分
 H29年度負担金 28,606千円

<現状に対する認識>

施設組合構成市町村として、負担する必要があるもの。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	75,447		69,374							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	75,447		69,374							
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1						
嘱託	0	0	0							
合計コスト①+②	76,216		70,133							
前年度比	—		92.0%							

事務事業評価票

事務事業名	地区福祉ひろば管理運営事業
-------	---------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地区福祉ひろば管理運営事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	H7～
--------	-----

高齢者を中心とする市民が住み慣れた地域において、共に支え合う地域社会の実現に向け、住民参加による、地域住民の健康、福祉、生きがいつくりの増進を図るための「共助のひろば」とする。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 地区福祉ひろばの管理運営
地区福祉ひろば36館に係わる職員雇用、施設管理、業務委託等を実施
- 地区福祉ひろば事業の推進
地区福祉ひろば事業は、地区住民による福祉の拠点として、「地区福祉ひろば事業推進協議会」に委託

<現状に対する認識>

- 施設の老朽化が著しく、設備の耐用年数を超過しています。
- 平成26年度から地域づくりセンターの業務を担うことになり、ひろば職員も地域づくりの役割を担うこととなっています。
- 施設利用者及び支援者の高齢化に伴い、参加者数はこの3年間微減しています。今後も、福祉を中心とした地域づくりの拠点として利用者拡大、担い手育成及び町会での事業展開を図ります。
- 福祉ひろばのあり方について、庁内で検討会議を開催しています。

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち		主な取組み	〇市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

<指標の達成状況>

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	地区福祉ひろば事業参加者数					
	指標の設定理由	地区福祉ひろばを拠点とした地域福祉活動を推進するため				
	目標値	288,000	291,000	2,940,000	297,000	300,000
	実績値	278,248	273,612			
	達成度	96.6%	94.0%			
② 成果指標(指標名)						
	指標の設定理由					
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	75,030	73,390			
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	75,030	73,390		
② 人件費(千円)	46,575	26,505	0		
	正規	34,605	14,801	0	
	嘱託	11,970	11,705	0	
		4.5	1.95		
		4.2	4.05		
合計コスト①+②	121,605	99,895	0	0	0
前年度比	—	82.1%	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地域福祉計画推進事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	31	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み	○	地域づくりの担い手の育成	
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり	
松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地域福祉計画推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

各地区で策定されている地域福祉計画の推進や見直しを推進するために、第3期地域福祉計画を推進するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画策定
平成28年度から32年度までを計画期間とする第3期計画を、松本市社会福祉協議会の地域福祉活動計画と一体的に策定。地区別の地域福祉(活動)計画を進めるにあたっては、社会福祉協議会の職員が、専門性をもって地域の福祉活動をマネジメントし、市は社会福祉協議会への財政支援および、地区関係職員の意識向上を図ることとしている。
- 地域包括ケアシステム推進事業
地区ごとの地域包括ケアシステムの構築に向けた方法論を確立するため、3地区(第二、岡田、四賀地区)で推進事業を実施
- 災害時等要援護者支援プランの推進
要援護者を地域で見守る体制を構築するため、災害時等要援護者登録制度の登録勧奨を行ったほか、登録から5年経過した登録者に対して現況確認調査を実施。また、災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定拡充に向け、事業所等との調整を実施

<現状に対する認識>

・地域福祉活動を推進するためには、活動の担い手を育成・支援する必要がある。
 ・地域包括ケアシステムの推進については、推進事業での取り組みを通じて作成した、他地区での活用が可能な支援ガイド等を活用し、医療介護の機能と合わせ、地区ごとの地域包括ケアシステムの構築を進める。
 災害時等要援護者登録制度については、登録勧奨・現況確認などを通じて実態を反映し精度を高める必要があるほか、社協とも連携して地域における日常からの支援体制づくりに取り組む必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	地域住民による支え合いが行われていると思う市民の割合				
指標の設定理由	支え合い活動の推進状況が把握できる数値のため				
目標値	60.0%	61.0%	62.0%	63.0%	65.0%
実績値	55.30%	調査年度外			
達成度	92.2%	-			
② 成果指標(指標名)	地域ケア会議の開催回数				
指標の設定理由	地域包括ケアシステム構築のための一つの手法であるため				
目標値	50	60	70	70	70
実績値	48	72			
達成度	96.0%	120.0%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	7,560		5,740							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,560		5,740							
② 人件費(千円)	28,340	人工	28,010	人工		人工		人工		人工
正規	26,915	3.5	26,565	3.5						
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5						
合計コスト①+②	35,900		33,750							
前年度比	-		94.0%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地区福祉ひろば利用拡大事業
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつながるまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			○市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標		1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略			⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地区福祉ひろば利用拡大事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

26～

- ・松本山雅元気育成・健康増進プログラムとして各地区福祉ひろばにおいて、主に高齢者を対象とした健康講座を行う。
- ・松本山雅の知名度を活かし福祉ひろばの利用拡大を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- ・松本山雅に事業を委託し、年間12か所の地区福祉ひろばを主会場として、市民の健康づくり講座を実施する。
- ・実施した講座における地区福祉ひろばへの新たな参加者数を活動指標とする。

<現状に対する認識>

事業継続4年目であり、1期目の3年間に於いて、初めてひろば利用した人数250人、男性参加者254人、全体の約25%に達し、福祉ひろばで行われている「ふれあい健康教室」の全体参加者に対する新規参加者の割合は3%、男性参加者の割合は約15%との結果であることから、成果指標は概ね達成できたと判断できる。
今後、成果指標及び事業の方向性を検討していきたい。

<指標の達成状況>

総合評価

D

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	山雅健康講座における新たな参加者数				
指標の設定理由	福祉ひろば利用拡大を目的としているため				
目標値	100	100	100	100	
実績値	95	37			
達成度	95.0%	37.0%			
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	270		270				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	270		270				
② 人件費(千円)	527	人工	524	人工		人工	人工
正規	385	0.05	380	0.05			
嘱託	143	0.05	145	0.05			
合計コスト①+②	797		794				
前年度比	—		99.6%				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	退職後男性の生きがいづくり事業
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつながるまち
政策の方向(まちの姿)	31	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み			○地域づくりの担い手の育成
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略			①健康・医療産業の創出・育成

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	退職後男性の生きがいづくり事業費

<事業の狙い>

事業計画年度 27 ~ 30

定年退職後男性の閉じこもり予防と、地域の担い手化を目指し、地区福祉ひろばにおいて集団で発声方法と歌を練習し、家族等へ成果を披露する講座を設け、高い目標設定と自主練習を含む講座運営により、地域の担い手となる男性グループを育成する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- フォローアップ講座
平成28年度参加者を対象に市内5カ所のひろばで講座を行い、地域の担い手育成を実施
- スポーツボイス大学院講座
市内5カ所のひろばにおいて集団で発声練習と歌の練習を通じてボイストレーニング
を行い、発表会で家族等へ成果を披露する講座を開催

<現状に対する認識>

講座終了後、修了生が中心となって自主活動を続けるためには機器が不可欠である。
機器にはスポーツボイス以外の健康づくり・介護予防・レクリエーションのコンテンツが500以上搭載されているため、資格取得者(地域住民)とひろばコーディネーター等が機器を活用することで、住民が主体的に活動できる環境を整えることが可能となる。

<指標の達成状況>

総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	資格取得者が地域で指導を行った回数				
指標の設定理由	退職後男性の生きがいづくり、地域の担い手育成を目的とした事業のため				
目標値	3	10	18	22	30
実績値	3	20			
達成度	100.0%	200.0%			
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	4,920		5,080				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	4,920		5,080				
② 人件費(千円)	2,307	人工	1,663	人工		人工	
正規	2,307	0.3	1,518	0.2			
嘱託	0		145	0.05			
合計コスト①+②	7,227		6,743				
前年度比	—		93.3%				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	健康福祉21市民会議
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	主な取組み	
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の健康及び福祉に関する事項について審議等するため、有識者による会議を開催する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 健康福祉21市民会議について

- (1) 委員数 20名(公募者、保健医療関係者、福祉関係者、学識経験者)
- (2) 委員任期 平成28年12月22日～平成30年12月21日(2年間)
- (3) 開催実績 3回(H29年度)
- (4) 会議内容
 - ア 第7期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定について
 - イ 第3期松本食育推進計画「すこやか食プランまつもと」の策定についてなど

<現状に対する認識>

健康福祉に関する関係機関の連携を密にし、総合的な視野に立った実効性のある計画の策定、見直し、調査研究等をするため、重要な会議である。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	145		238							
国・県	0	0	0	0						
利用者負担金	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0						
一般財源	145		238							
② 人件費(千円)	2,592	人工	2,566	人工		人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3						
嘱託	285	0.1	289	0.1						
合計コスト①+②	2,737		2,804							
前年度比	—		102.4%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	社会福祉法人指導監査
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

社会福祉法人の適正な運営と社会福祉事業の経営の確保を図ることを目的とし、所管する社会福祉法人の指導監査を実施する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 所管する社会福祉法人(H29年度 17法人)
 法人名 (主な事業内容)
 松本市社会福祉協議(児童福祉、老人福祉、障害者福祉、その他)、信濃会友愛会(障害者支援施設等)、アルプス福祉会(障害福祉サービス事業)、ちくま(障害福祉サービス事業)、ハーモニー(介護老人保健施設等)、国際保健支援会(介護老人保健施設等)、雄仁会(介護老人保健施設)、のぞみ(軽費老人ホーム)、心泉会(介護老人保健施設等)、てまり(軽費老人ホーム)、陽気会(軽費老人ホーム)、梓の郷(特別養護老人ホーム)、恵清会(特別養護老人ホーム)、松本市児童養護協会(児童養護施設)、アルプス(保育所)、州浜会(保育所)、高綱の里(保育所)

2 平成29年度指導監査実施状況
 (1) 指導監査実施法人数 8法人(一般指導監査については、3力年に1回実施)
 (2) うち文書指摘を行った法人数 8法人
 (3) 主な文書指摘事項
 組織運営に関すること 24件、管理に関すること 4件

<現状に対する認識>

平成29年4月1日に社会福祉法が改正され、役員・評議員の選定方法の変更、現況報告書等のシステムでの提出、定款・役員報酬等のホームページでの公表等大幅な制度変更が行われた。平成29年度は法改正に十分に対応がされているかを重点として指導監査を行ったが、対応が不十分な点も見受けられた。平成30年度も引き続き、法改正への対応状況を重点として指導監査を実施する予定。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	20		20				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	20		20				
② 人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工		人工	人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5			
嘱託	0		0				
合計コスト①+②	3,865		3,815				
前年度比	—		98.7%				

障害福祉課

課長 青木 宏元

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(遺族会)
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>	事業計画年度	~
戦没者遺族及び戦傷病者の援護の相談に応じ、必要な助言・指導を実施。また、全国戦没者追悼式・県戦没者追悼式等への参加を実施するための活動支援をするもの。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 遺族会の活動
各地区町会連合会、奉賛会、地区遺族会共催による戦没者慰霊追悼式の実施。 戦没者遺族の処遇改善推進、遺族の交流・親睦及び国・県戦没者追悼式への参列。
2 活動費
会員数 × 550円
3 内容
会員登録数による活動費

<現状に対する認識>

補助金交付により、従来通りの事業が維持できており、戦没者遺族の福祉向上等に寄与しているため、今後も事業の継続を図る。
--

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	遺族会会員数				
指標の設定理由	遺族会活動状況が把握できるため				
目標値	1000	950	950	950	950
実績値	1040	944			
達成度	104.0%	99.4%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	675	589			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	675	589			
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	
嘱託	0		0		
合計コスト +	2,982		2,866		
前年度比	-		96.1%		

事務事業評価票

事務事業名	自立支援福祉事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	自立支援福祉事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

障害者・児(以下「障害者」という。)が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく自立支援給付サービスを提供し、障害者の福祉の向上及び増進を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの提供

1 障害福祉サービス

(1) 介護給付
 居宅介護 重度訪問介護 行動援護 重度障害者等包括支援
 同行援護 生活介護 療養介護 短期入所 施設入所支援

(2) 訓練等給付
 自立訓練 就労移行支援 就労継続支援 共同生活援助

(3) 相談支援
 計画相談支援 地域移行支援 地域定着支援

2 自立支援医療

3 補装具費支給

< 現状に対する認識 >

障害者手帳交付者は年々増加しており、障害の重複化や重度化とともに高齢化も進んできているため、障害の状態や生活状況に応じた個別支援の更なる充実に努める。
 障害者が地域で安心して暮らせる(地域移行)ための支援として、市内にグループホームを整備する。

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み		地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	グループホーム数				
指標の設定理由	地域における設置状況を把握できるため				
目標値	32	33	34	35	36
実績値	31	34			
達成度	96.9%	103.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	3,556,764	3,692,470			
国・県	2,667,572	2,769,352			
利用者負担金					
その他					
一般財源	889,192	923,118			
人件費(千円)	47,000	46,620			
正規	38,450	37,950			
嘱託	8,550	8,670			
合計コスト +	3,603,764	3,739,090			
前年度比	-	103.8%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	障害者地域生活支援事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしが続けられるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実		5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
				松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	障害者地域生活支援事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～H32

障害者の福祉の増進を図るとともに、障害の有無に関わらず市民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与するため、各種事業を実施するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 理解促進研修・啓発事業
障害者等の自立した日常生活及び社会生活に関する理解を深めるための研修及び啓発を行う事業(委託により障害者週間イベントの実施)
- 自発的活動支援事業
障害者等、障害者等の家族、地域住民等により自発的に行われる障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるようにするための活動に対する支援を行う事業
社会福祉法人信濃友愛会への委託による本人活動支援事業の実施
- 相談支援事業
福祉サービスの利用援助、各種支援施策に関する助言、指導等の総合的専門的な相談支援の実施
松本障害保健福祉圏域構成市村による委託により実施(Wish、ボイス、あるぷ)
- 意思疎通支援事業
意思疎通を図ることに支障がある障害者等とその他の者の意思疎通を仲介するもの
手話通訳者派遣1,017件、要約筆記者派遣216件、手話通訳者設置1名
- 日常生活用具給付等事業
日常生活上の便宜を図るため、要件を満たす重度障害者に用具を給付するもの。
給付件数 5,134件 等

<現状に対する認識>

障害者の社会参加の促進、生活圏の拡大に大きく寄与しており、障害者が地域で生活するうえで必要不可欠な事業である。
制度の大枠は国の実施要綱で定められているものの、細部については地域の実情に応じて柔軟に実施ができることから、市町村間で格差も生じている。
近隣市村において、可能な範囲で事業内容の平準化を検討していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	日常生活用具給付事業給付件数				
指標の設定理由	地域における重度障害者(児)の生活状況が把握できるため				
目標値	4,622	4,758	4,898	5,042	5,190
実績値	5,194	5,134			
達成度	112.4%	107.9%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	319,986		320,111							
国・県	122,124		119,264							
利用者負担金										
その他										
一般財源	197,862		200,847							
人件費(千円)	9,115	人工	9,035	人工		人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1						
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5						
合計コスト +	329,101		329,146							
前年度比	-		100.0%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	福祉手当給付事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	福祉手当給付事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

日常生活に特別の介護を必要とする重度障害者や心身に障害を持っている方を対象に経済的負担の軽減及び福祉の増進を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 特別障害者手当
20歳以上で、日常生活に常時特別の介護を要する在宅の重度障害者(1級程度の障害重複が同程度以上の者)
- 福祉手当(経過措置)
昭和61年3月31日現在において20歳以上の福祉手当受給者で障害基礎年金、特別障害者手当の支給を受けられない者
- 心身障害者福祉手当
20歳以上の在宅障害者で、身障手帳1級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳 1・2級の者

<現状に対する認識>

・特別障害者手当、福祉手当
施設入所、長期入院により資格を喪失する者が減少。在宅生活に戻り、手当の受給を再開するケースが増加。今後も増加傾向にある。

・心身障害者福祉手当
障害者手帳の増加に伴い、手当の支給が増加傾向。特に精神保健福祉手帳の増加が著しい。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	心身障害者福祉手当受給者数				
指標の設定理由	障害者手帳交付数を把握し経済的負担を軽減するため				
目標値	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700
実績値	3,556	3,670			
達成度	96.1%	99.2%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	216,286		218,175				
国・県	74,204		72,799				
利用者負担金							
その他							
一般財源	142,082		145,376				
人件費(千円)	9,115	人工	9,035	人工		人工	人工
正規	7,690	1	7,590	1			
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5			
合計コスト +	225,401		227,210				
前年度比	-		100.8%				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	身体障害者福祉事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
						松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	身体障害者福祉費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～H32

身体障害者の社会参加促進や障害者本人、介護者の心身の負担及び経済的負担軽減のため、各種事業を実施するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 重度心身障害者(児)タクシー利用料金助成事業
重度の障害者(児)に対して1乗車700円割引のタクシー券(年間24枚、人工透析患者は48枚)を交付するもの
- 2 重度心身障害者(児)自動車燃料費助成事業
重度の障害者(児)に対して、自動車の燃料費(月額1,400円、年額16,800円を限度)を助成するもの
- 3 心身障害者(児)タイムケア事業
障害児者を家庭において一時的に介護できない場合等に、事前に登録した介護者が時間単位で一時的預かりするもの
- 4 障害者理美容料金助成事業
常時臥床し、外出困難な重度障害者に対し、理美容料金を助成するもの(1回3,000円、年6回を限度)
- 5 身体障害者補助犬飼育費助成事業
身体障害者補助犬使用者に対し、飼育管理費を助成するもの(月3,000円)
- 6 障害者にやさしい住宅改良促進事業
身体障害者が居住する住宅の居室、トイレ、浴室等を改修する場合に補助金を交付するもの
- 7 身体障害者デイサービス事業
心身障害者福祉センター(市社協指定管理)、北部デイサービスセンターの運営に対し、委託、補助を行うもの等

<現状に対する認識>

身体障害者の社会参加の促進、生活圏の拡大及び介護者の負担軽減に大きく寄与しており、身体障害者が地域で生活するうえで必要不可欠な事業である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	タクシー券使用枚数				
指標の設定理由	重度障害者(児)の外出機会の状況が把握できるため				
目標値	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000
実績値	15,438	15,371			
達成度	90.8%	90.4%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	49,601	48,276			
国・県	7,563	8,037			
利用者負担金					
その他					
一般財源	42,038	40,239			
人件費(千円)	10,540	10,480			
正規	7,690	7,590			
嘱託	2,850	2,890			
合計コスト +	60,141	58,756			
前年度比	-	97.7%			

事務事業評価票

事務事業名	知的障害者福祉事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	知的障害者福祉費

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標		1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略			

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～H32

障害者及び家族の身体的、経済的な負担を軽減するための各種補助事業

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 心身障害者扶養共済掛金補助金
県の「心身障害者扶養共済制度」加入者のうち、低所得世帯に掛金の30%の額を補助する。
- 障害者・児施設訪問看護サービス
施設等に通所(園)する医療的ケアを必要とする障害者・児に対する訪問看護師の経費を補助する。

< 現状に対する認識 >

心身障害者扶養共済は親亡き後の障害者の経済的支援の一つとして有効なものであるが、新規加入者の数が減少しているため周知に努める。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	補助事業利用者				
指標の設定理由	心身障害者扶養共済制度自体の利用者数の成果が確認できる				
目標値	12	15	20	25	30
実績値	8	9			
達成度	66.7%	60.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	1,733	415			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,733	415			
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	人工
正規	7,690	1	7,590	1	
嘱託	0	0	0		
合計コスト +	9,423	8,005			
前年度比	-	85.0%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	障害者虐待防止事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしが続けられるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
				松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	障害者虐待防止事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～H32

障害者虐待の発生防止、発生してしまった時に早期発見・早期対応ができるネットワークの構築を行う。また虐待が発生し障害者の身体・生命に危険を及ぼす危険がある場合に障害者を保護できる居室を確保できるようにしていく。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 虐待防止ネットワーク協議会開催
障害者、高齢者の虐待防止に関係する機関・団体を構成メンバーにした協議会を開催し、周知啓発、早期発見、早期対応に向けた体制づくりと連携強化を行う。
- 虐待防止・早期発見のための周知啓発
虐待防止ネットワーク協議会構成団体及び市民の方への周知啓発を実施。
- 障害者虐待防止短期入所事業
障害者虐待により、障害者を緊急に保護分離しなければいけない時に受入先として指定短期入所施設の居室が確保できない場合がある。そのような時に代替施設を利用するための費用を支弁するもの。
- 在宅強度行動障害者等短期入所利用支援事業
家族の介護負担の増加が虐待発生の要因の一つであるため、虐待を未然に防ぐことができるようになるために、短期入所施設が障害者の受入れをやすくするための支援体制を整備するもの。

<現状に対する認識>

相談・通報件数は年間10数件と少ない。障害者虐待に該当する行為であっても、虐待であるとの認識が無いまま支援が行われていることもある。さらなる周知啓発が必要である。あわせて受入をしてくれる障害者福祉サービス事業所が増える環境整備に努める必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	障害者福祉制度のあらし等配布による障害者虐待防止の周知啓発数				
指標の設定理由	直接、障害者に障害者虐待について周知ができ効果を得ているため。				
目標値	1,800	1,850	1,900	1,950	2,000
実績値	1,500	1,750			
達成度	83.3%	94.6%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	113		177							
国・県			88							
利用者負担金										
その他										
一般財源	113		89							
人件費(千円)	9,115	人工	9,035	人工		人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1						
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5						
合計コスト +	9,228		9,212							
前年度比	-		99.8%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(障害福祉課)
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
						松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い> 事業計画年度 ~

経営基盤の脆弱な旧法サービス事業者等を対象に、日中活動の場の確保と経営安定のために実施するもの。
また、障害者等に余暇活動の場の提供や余暇の過ごし方に関する相談支援を行い、または重度障害者の外出を支援し、障害者の余暇の充実及び社会参加の促進を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 障害者の日中活動の場を提供する施設の運営を行うにあたり、施設の用地及び建物を民間から賃借している場合に、賃借料の一部を補助するもの。
補助基準
施設用地、施設建物 賃借料の1/2 (補助限度額 年額600,000円)

2 障害者等が行うスポーツ、レクリエーション(ハイキング、キャンプ、オリエンテーリング等)、趣味の活動(料理、音楽、絵画、陶芸、カラオケ等)、旅行等の余暇活動の場を提供する事業に対し補助するもの。
補助額 1団体あたり100,000円(上限額。1団体につき3年を限度とする。)

<現状に対する認識>

要綱では、旧法サービス事業者を対象としているため、対象施設が増えることはないが、利用をしている障害者にとっては日中活動をすることに意味があり欠かせない場であるため、今後も継続が必要。
障害者の余暇活動の場の確保のため、必要不可欠な事業であるが、1団体3年限りという制限のある補助金であることから、本補助金交付終了後の継続した事業実施に対する支援策の検討が必要。

<指標の達成状況>	総合評価		D		
	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
成果指標(指標名)	余暇活動支援事業参加者数				
指標の設定理由	重度障害者(児)の社会参加、外出機会の状況を把握するため				
目標値	50	50	50	50	50
実績値	47	18			
達成度	94.0%	36.0%	0.0%	0.0%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	420	420			
国・県	50	50			
利用者負担金					
その他					
一般財源	370	370			
人件費(千円)	3,845	3,795			
人工	0.5	0.5			
嘱託	0	0			
合計コスト +	4,265	4,215			
前年度比	-	98.8%			

事務事業評価票

事務事業名	福祉医療費給付事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	障害者支援医療扶助費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

障害者の医療費自己負担分について給付を行い、障害者の健康保持と福祉の増進を図るものです。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 助成対象	身体障害者手帳 1~4級 療育手帳 A1、A2、B1 精神保健福祉手帳 1~2級
2 助成内容	1ヵ月1医療機関あたり受給者負担金(500円)を医療費自己負担額から差し引いた額を給付します。
3 実績(H29年度)	(1) 給付件数 251,655件 (2) 給付額 792,593,416円

< 現状に対する認識 >

障害者の方が地域で安心して暮らせる為には、安心して医療機関に受診できる環境を整えることが重要です。
本事業は、障害者の方が医療機関を受診する際の負担を軽減するものであり、継続した実施が必要です。

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	#REF!
-----	-------	----	-------	-----	-------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	福祉医療費受給者証交付件数				
指標の設定理由	障害者手帳交付数と比較することにより、交付対象の妥当性を検証できるため				
目標値	9,900	9,950	10,000	10,050	10,100
実績値	9,809	9,780			
達成度	99.1%	98.3%	0.0%	0.0%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	775,791	792,593			
国・県	253,590	257,929			
利用者負担金					
その他					
一般財源	522,201	534,664			
人件費(千円)	21,080	16,260			
正規	15,380	7,590			
嘱託	5,700	8,670			
合計コスト +	796,871	808,853			
前年度比	-	101.5%			

事務事業評価票

事務事業名	補助金(知的障害者育成会等補助事業)(児童福祉総務費)
-------	-----------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標		1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略			

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～H32

障害者の社会参加促進や介護者支援のために活動する団体に対して事業に係る運営費の一部を助成する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本市知的障害者育成会補助金
会員数200名。29年度、社会参加促進の機会の場の開催及び知的障害者の福祉向上のための活動を合わせて18回実施。
- 心身障害児・者激励行事補助金
松本市社会福祉協議会が実施し、市は経費の一部を助成。外出機会が少ない障害児者とその家族が参加者間での交流や情報交換、心身のリフレッシュを図っている。
29年度は当事者及びその家族の方39名が参加。

< 現状に対する認識 >

松本市知的障害者育成会は会員数の増加がなかなか困難であるが、知的障害者福祉の向上のための活動を積極的に行っていて、本市の知的障害者福祉の増進に寄与しているので会と協力して会員の増加に努める。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	松本市知的障害者育成会会員数				
指標の設定理由	会への所属が社会参加のきっかけとなり、介護者の孤立化も予防できる。				
目標値	250	255	260	265	270
実績値	204	200			
達成度	81.6%	78.4%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	350		350							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	350		350							
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工		人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1						
嘱託	0	0	0							
合計コスト +	8,040		7,940							
前年度比	-		98.8%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(特定疾患患者見舞金給付事業)(保健衛生総務費)
-------	-----------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	1 健康ときずなづくり	
				松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

~

特定疾患患者の経済的、精神的負担の軽減と福祉の増進を図るため、申請に基づき1年度に1回見舞金として給付するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 対象要件	特定医療費(指定難病)受給者証、ウイルス肝炎医療費受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の交付を受けている方または、別表に定める疾患(30病種)と診断された方で、本市に1年以上居住する方。(毎年度申請が必要)
2 内容	特定疾患患者見舞金として1人年額12,000円を給付。
3 実績(H29年度)	(1) 給付件数 1,235件 (2) 給付額 14,820,000円

<現状に対する認識>

原因及び治療法が確立されていない疾病、いわゆる難病患者及びその家族の経済的、精神的負担の軽減を図るために継続した実施が必要。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	特定疾患患者見舞金申請件数				
指標の設定理由	経済的負担の状況が把握できるため				
目標値	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
実績値	1,224	1,235			
達成度	94.2%	95.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!			

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	14,688	14,820	0	0	0
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	14,688	14,820			
人件費(千円)	7,690	7,590			
人工	1	1			
正規	7,690	7,590			
嘱託	0	0			
合計コスト +	22,378	22,410			
前年度比	-	100.1%			

生活保護課

課長 大月 俊雄

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	中国残留邦人生活支援事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	中国残留邦人生活支援事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H20 ~

中国残留邦人等本人とその配偶者の生活の安定を目的として、生活、医療、住宅、介護支援などを行ったり、地域で安心して暮らせる環境づくりを行い、社会的な自立を促すもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 中国残留邦人生活支援給付金の支給
中国残留邦人等本人とその配偶者の、老後の生活を安定させることを目的とした給付金を支給した。
- 支援・相談員の配置
中国語に堪能な支援・相談員を配置し、中国残留邦人等からの日常生活の相談を受けるとともに、医療機関での通訳にあたった。
- 中国残留邦人等生活支援事業
中国残留邦人等が地域の日本語教室や交流事業に気軽に参加できる仕組みをつくり、地域の一人として普通の暮らしを営んでいくことを目的とした事業を、NPO法人に委託し実施した。

<現状に対する認識>

対象者には日本語が話せない高齢者が多いことから、中国語に堪能な支援・相談員の配置を継続し、日常生活の相談に応じる等きめ細かな支援を行っていく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	46,797		33,985							
国・県	35,389		26,990							
利用者負担金										
その他	21		0							
一般財源	11,387		6,995							
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工		人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2						
嘱託	0		0							
合計コスト①+②	48,335		35,503							
前年度比	—		73.5%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	事務管理(法外援護)
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	事務管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

行旅病人や行旅死亡人に対し、必要な支援を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 低所得者援護(行旅人旅費)
市外最寄りの駅までの旅費、食事代として500円を支給した。
- ボーダーライン援護(29年度は実績なし)
 - 窮迫等で短期の医療を受け、所持金がないため医療費の支払いが困難なホームレス等に対して、その医療費を支給する。
 - 身元不明の行き倒れ(行旅死亡人)の死亡診断書料を支払う。

<現状に対する認識>

--

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	38		2				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	38		2				
② 人件費(千円)	385	人工	380	人工	人工	人工	人工
正規	385	0.05	380	0.05			
嘱託	0		0				
合計コスト①+②	423		382				
前年度比	—		90.3%				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	四賀社会就労センター管理
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀社会就労センター管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

心身上の理由や世帯の事情により就業の困難な者に、就労や技能習得の機会を提供し、その自立助長を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 授産施設の管理
一般企業から仕事を受注し、利用者の就労及び技能習得のために必要な機会を提供するための施設の維持管理を行った。

<現状に対する認識>

施設の老朽化が進んでいる。
また、高齢の利用者が多く、利用者の過半数が70歳を超えているため、利用者の減少が見込まれることから、今後施設のあり方について検討が必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	3,003		2,180				
国・県	4,454		4,815				
利用者負担金	0		0				
その他	11		11				
一般財源	-1,462		-2,646				
② 人件費(千円)	6,854	人工	6,919	人工		人工	
正規	1,154	0.15	1,139	0.15			
嘱託	5,700	2	5,780	2			
合計コスト①+②	9,857		9,099				
前年度比	—		92.3%				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	四賀社会就労センター事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀社会就労センター事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

心身上の理由や世帯の事情により就業の困難な者に、就労や技能習得の機会を提供し、その自立助長を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 授産施設の運営管理
一般企業から仕事を受注し、利用者の就労及び技能習得のために必要な機会を提供し、自立助長を図った。
- 2 仕事の確保
所長、指導員で企業に出向き、仕事量の確保に努めた。

<現状に対する認識>

高齢の利用者が多く、利用者の過半数が70歳を超えているため、利用者の減少が見込まれることから、今後施設のあり方について検討が必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	7,650		7,842							
国・県										
利用者負担金	111		101							
その他	7,498		7,495							
一般財源	41		246							
② 人件費(千円)	5,700	人工	5,780	人工		人工		人工		人工
正規	0	0	0	0						
嘱託	5,700	2	5,780	2						
合計コスト①+②	13,350		13,622							
前年度比	—		102.0%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	奈川社会就労センター管理
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	奈川社会就労センター管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

心身上の理由や世帯の事情により就業の困難な者に、就労や技能習得の機会を提供し、その自立助長を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 指定管理者制度の導入
平成26年度から指定管理者制度を導入した。
指定管理者 社会福祉法人松本市社会福祉協議会
- 授産施設の運営管理
一般企業から仕事を受注し、利用者の就労及び技能習得のために必要な機会を提供し、自立助長を図った。
- 仕事の確保
所長、指導員で企業に出向き、仕事量の確保に努めた。
- 自主事業の実施
施設の社会参加を目指した農業を実施した。

<現状に対する認識>

高齢の利用者が多く、利用者の過半数が60歳を超えているため、利用者の確保が課題である。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	17,842		16,950				
国・県	3,497		3,528				
利用者負担金							
その他							
一般財源	14,345		13,422				
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1	759	0.1			
嘱託	0		0				
合計コスト①+②	18,611		17,709				
前年度比	—		95.2%				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	生活保護
-------	------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	生活保護費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

生活に困窮する市民(原則)に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 被保護世帯への相談、支援
個々の実情に即した相談支援を重視し、関係機関及び民生委員等の協力を求め、社会資源の活用を図り、適正な保護の実施と援助に努めた。
- 就労支援プログラムの活用
自立支援のための就労支援プログラムを策定し、就労支援員2名が公共職業安定所や関係機関等との連携による実情に応じた継続的できめ細やかな就労支援を行い、被保護者世帯の早期自立を支援した。
- 生活保護支援基金の貸付け
生活保護に該当すると見込まれる者に対して、申請に基づき生活保護費支給までのつなぎ資金として、条例に定めた範囲内で生活資金や住宅資金を貸し付ける基金を運用して貸し付けを行った。

<現状に対する認識>

堅調な雇用情勢を受け、母子世帯や稼働年齢層のいる世帯は減少傾向にあり、保護人員は微減に推移しているが、家族形態は核家族が中心となり、単身世帯が増加し、保護世帯数は横ばいの状況である。
急激な高齢化の進展により、高齢者世帯が全体の半数を超え、その9割が単身世帯のため、民生・児童委員や高齢者福祉関係者等との連携による見守りや健康管理を中心とした支援を行っていく必要がある。

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	被保護者の就職者数					
指標の設定理由	生活保護制度の目的である自立助長を端的に示すことができるため					
目標値	100	120	年度当初に就労支援者数を確認し、目標設定を行う。			
実績値	136	130				
達成度	136.0%	108.3%				
② 成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	3,339,660		3,320,871				
国・県	2,468,415		2,625,383				
利用者負担金							
その他	32,582		45,215				
一般財源	838,663		650,273				
② 人件費(千円)	220,885	人工	218,475	人工	人工	人工	人工
正規	203,785	26.5	201,135	26.5			
嘱託	17,100	6	17,340	6			
合計コスト①+②	3,560,545		3,539,346				
前年度比	—		99.4%				

高齡福祉課

課長 上條 昭一

事務事業評価票

事務事業名	敬老地区行事等支援事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	敬老地区行事等支援事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実		5つの重点目標	
				松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度	
--------	--

地域でのお祝い等により、ひとり暮らし高齢者等の孤独感の解消や、高齢者相互間の交流促進、地域支え合いによる高齢者福祉の向上が図られる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

敬老祝金給付
 88歳(米寿)12,000円 99歳(白寿)13,000円 100歳以上25,000円
 記念品、祝状等贈呈
 88歳(米寿) 祝状 99歳(白寿) 祝状 100歳 祝状と記念品

敬老の日地区行事補助
 交付先:社会福祉協議会
 各地区の社会福祉協議会が行う敬老の日の地区行事に係る経費を補助するもの。
 75歳以上高齢者数 × @1,000円を上限額とする。

ひとり暮らし老人等給食サービス事業
 社会福祉協議会を実施主体として、市内に居住するひとり暮らし高齢者、障害者世帯等を対象に、地域住民とのふれあい、交流を深めることを目的に開催される会食または、配食について、該当事業費の一部を補助するもの。

< 現状に対する認識 >

敬老の日地区行事補助
 対象者の高齢化による参加人数の減少と、行事主催者の高齢化により、敬老行事のあり方を検討する必要がある。
 ひとり暮らし老人等給食サービス事業
 実施主体となる松本市社会福祉協議会に事業の充実、活性化を依頼する。

< 指標の達成状況 >

	総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	敬老祝金給付対象者数(人)				
指標の設定理由	高齢者数の増加				
目標値	1,782	1,780	1,780	1,780	1,780
実績値	1,767	1,779			
達成度	99.2%	99.9%			
成果指標(指標名)	ひとり暮らし老人等給食サービス配食数(食)				
指標の設定理由	ひとり暮らし高齢者数の増加				
目標値	18,843	19,031	19,221	19,413	19,607
実績値	18,315	14,878			
達成度	97.2%	78.2%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	67,801	69,931			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	67,801	69,931			
人件費(千円)	3,267	4,517			
正規	2,384	0.31	4,020	0.52	
嘱託	884	0.31	496	0.17	
合計コスト +	71,068	74,448			
前年度比	-	104.8%			

事務事業評価票

事務事業名	高齢者社会参加支援事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者社会参加支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者の健康増進と協調精神を養うとともに、地域の仲間とのふれあいの機会を持ち、また、これまでに培った経験、能力を活かし就業を通じて社会を支え、同時に自分自身の生きがいづくりに寄与することで、高齢者福祉の向上を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

高齢者就業機会確保事業
 高齢者等の雇用の安定等に関する法律(昭和40年法律第68号)に基づく補助事業。

シルバー人材センターは、同事業で国の補助を受けており、その条件として、地方公共団体が応分の補助を行う事が前提とされているもの。
 松本地域シルバー人材センターに対する運営費補助金のうち、松本市・山形村で按分した本市負担分。

生きがいづくり、健康づくり事業
 松本市高齢者クラブ連合会を実施主体に実施される、高齢者の生きがいづくり、健康づくりを目的とした各種事業に係る経費への補助及び、町会単位等の各単位クラブへの活動助成をするもの。

< 現状に対する認識 >

シルバー人材センター補助金
 介護予防・日常生活支援総合事業、空家等適正管理事業を受託し取組んでいるが、会員数、契約件数とも前年度より減少している。
高齢者クラブ補助金
 高齢者クラブの解散が増え、市高齢者クラブ連合会から脱退するクラブも増えているため、高齢者クラブの事業の周知をし、加入促進を図る。

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

総合評価

A

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	就業実人数				
指標の設定理由	就業機会の確保				
目標値	1,582	1,598	1,614	1,630	1,646
実績値	1,558	1,304			
達成度	98.5%	81.6%			
成果指標(指標名)	単位クラブ数				
指標の設定理由	生きがいづくりの推進				
目標値	181	170	170	170	170
実績値	168	160			
達成度	92.8%	94.1%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	25,121		29,976							
国・県	3,566		3,550							
利用者負担金										
その他										
一般財源	21,555		26,426							
人件費(千円)	1,159	人工	1,632	人工		人工		人工		人工
正規	846	0.11	1,461	0.19						
嘱託	314	0.11	171	0.06						
合計コスト +	26,280		31,608							
前年度比	-		120.3%							

事務事業評価票

事務事業名	高齢者福祉入浴事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者福祉入浴事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 事業の狙い >

事業計画年度	
--------	--

市内公衆浴場等の入浴料金の一部を助成し、高齢者の健康増進及び交流促進を支援するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 対象者 70歳以上の高齢者
- 対象施設 市内公衆浴場組合加盟の浴場、松茸山荘別館、梓水苑
- 利用方法 対象施設を1回100円で利用できる入浴券を1人年間30枚交付
- 助成内容 入浴券1枚につき、300円(上限)助成

1 過去3年の実績

年度	対象者 (70歳以上人口) A (人)	交付者 B (人)	交付率 B/A C (%)	交付枚数 B×30枚 D (枚)	使用状況			平均利用枚数 E/B F (枚)	扶助費 (円)
					施設名	使用枚数(枚) E	構成比(%) 構成比(%)		
27	47,203	8,466	17.94	253,980	公衆浴場9施設	66,793	61.75	12.78	32,452,500
					松茸山荘	12,312	11.38		
					松香寮	29,070	26.87		
					計	108,175	100.00		
28	47,364	8,536	18.02	256,080	公衆浴場9施設	67,741	59.95	13.24	33,899,100
					松茸山荘	12,301	10.89		
					松香寮	32,955	29.16		
					計	112,997	100.00		
29	48,274	8,870	18.37	266,100	公衆浴場9施設	68,550	59.82	12.92	34,379,700
					松茸山荘	12,169	10.62		
					松香寮	33,880	29.56		
					計	114,599	100.00		

扶助費:1枚当たり300円

< 現状に対する認識 >

対象施設が市域の東側に偏っており、制度を利用できる者が限られるため、交付率は18%、交付者一人当たりの平均利用枚数は1.3枚と利用率が低い。
このことから、平成31年度以降の事業の必要性を含め、今後のあり方を実施計画49号で再検討します。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	入浴券交付率				
指標の設定理由	交流の場の提供				
目標値	18.00%	18.00%			
実績値	18.02%	18.37%			
達成度	100.1%	102.1%			
成果指標(指標名)	平均利用枚数				
指標の設定理由	利用率の向上				
目標値	13.00%	13.00%			
実績値	13.24%	12.92%			
達成度	101.8%	99.4%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	35,813	34,919			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	35,813	34,919			
人件費(千円)	1,792	人工	2,151	人工	
正規	1,307	0.17	1,923	0.25	
嘱託	485	0.17	228	0.08	
合計コスト +	37,605	37,070			
前年度比	-	98.6%			

事務事業評価票

事務事業名	福祉100円バス助成事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	福祉100円バス助成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者等の交通手段の確保、外出支援等により、日常生活利便の向上、社会活動参加の促進により、高齢者等の生きがいづくり、健康づくりを図るもの
--

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

<p>市内に居住する70歳以上の高齢者及び障害者を対象に市内のバス等を利用する場合に、その料金の一部を助成するもの 利用料金のうち100円を利用者が負担し、残りの料金については、事業者と市で負担するもの</p> <p>負担割合 (1)市内バス路線及び上高地線電車 平成26年度までは市と事業者が折半、平成27年度は市6割、事業者4割、平成28年度からは市7割、事業者3割 (2)西部コミュニティバス 市5割、事業者5割 (3)代替交通(ほしみ線、中山線、入山辺線) 市5割、事業者5割</p>

< 現状に対する認識 >

<p>主なバス運行事業者のアルピコ交通㈱は、事業者負担分が実質的な減収になるとして、負担割合の見直しを求めている。 市は、事業を福祉政策としてだけでなく、利用促進策としても捉えているので、負担割合は現状を維持したい。</p>

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	年間利用者数(人)				
指標の設定理由	高齢者の外出支援				
目標値	設定なし	622,000	622,000	622,000	622,000
実績値	621,165	590,408			
達成度	-	94.9%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	73,111		66,297							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	73,111		66,297							
人件費(千円)	3,584	人工	4,267	人工		人工		人工		人工
正規	2,615	0.34	3,798	0.49						
嘱託	969	0.34	469	0.16						
合計コスト +	76,695		70,564							
前年度比	-		92.0%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	老人福祉センター管理運営事業
-------	----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	老人福祉センター管理運営事業

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度

地域の高齢者に対して健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を図り、高齢者の日常生活に必要な能力回復、向上を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 南部老人福祉センター管理運営
施設及び管理運営に関して指定管理者と締結した協定に基づき、事業を実施したもの
 (1) 利用の許可業務
 (2) 施設及び設備の維持管理業務
 (3) 老人福祉法の規定により行う業務
 ア 各種講座
 イ サークル支援
 ウ 福祉入浴
 エ プラチナ大学 他
- おぼけ荘関連
解体工事中に確認された敷地内の油汚染について、土壌入替等の工事を実施したもの
 (1) 漏油土壌の収集運搬及び処分委託 875千円
 (2) 漏油土壌の入替等工事 740千円
 計 1,615千円

< 現状に対する認識 >

施設の大規模改修に伴い、各種講座、プラチナ大学等の回数及び人数について規模を縮小して実施しています。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	生きがいづくりの推進				
目標値	12,000人	12,500人	12,600人	12,700人	12,800人
実績値	12,454人	15,487人			
達成度	103.8%	123.9%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	29,258		8,077							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	29,258		8,077							
人件費(千円)	1,476	人工	518.4	人工		人工		人工		人工
正規	1,077	0.14	461.4	0.06						
嘱託	399	0.14	57	0.02						
合計コスト +	30,734		8,595							
前年度比	-		28.0%							

事務事業評価票

事務事業名	老人集いの家事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	老人集いの家事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 事業の狙い >

事業計画年度

~ 29

地域の高齢者の生きがいづくり、健康づくりの活動拠点として、高齢者福祉の向上を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

平成28年度を持って廃止した施設の解体工事等を実施したものの

1 施設解体工事	11,880千円
2 付帯施設解体工事	1,188千円
3 産業廃棄物収集運搬及び処分委託	146千円
4 廃棄家電収集運搬委託	17千円
5 浄化槽清掃委託	313千円
計	13,544千円

< 現状に対する認識 >

施設の廃止(29.3.31)に伴い、赤松館を利用していた団体については、今までと同様の条件で町内公民館、地域づくりセンター及び旧中川小学校を利用できるものとなりました。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	生きがいづくり・健康づくりの推進				
目標値	984人	-	-	-	-
実績値	1,127人	-	-	-	-
達成度	114.5%	-	-	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	934		13,544							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	934		13,544							
人件費(千円)	42	人工	855	人工		人工		人工		人工
正規	31	0.004	769	0.10						
嘱託	11	0.004	86	0.03						
合計コスト +	976		14,399							
前年度比	-		1475.0%							

事務事業評価票

事務事業名	公的介護施設等整備事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	公的介護施設等整備事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

12~

介護保険事業計画に基づき、介護保険施設等を整備するにあたり、事業者である社会福祉法人等に対し、県補助金を活用して、施設整備費や施設開設に必要な諸経費の助成を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 第6期介護保険事業計画に基づき、下記の事業を実施。

- (1) 地域密着型サービス施設整備事業
 - ア 地域密着型介護老人福祉施設リーベおおにわ
 - イ 123,830千円
- (2) 施設開設準備経費助成事業
 - ア 地域密着型介護老人福祉施設リーベおおにわ
 - イ 18,009千円
- (3) 既存高齢者関係施設へのスプリンクラー設置助成事業
 - ア NPO法人ラポール城東第5宅老所 他5施設
 - イ 19,172千円
- (4) 防犯対策強化事業
 - ア 特別養護老人ホームぬくもりの里島立 他3施設
 - イ 2,593千円

< 現状に対する認識 >

介護保険事業計画に整合した施設整備、また、介護施設における利用者の安全確保及び介護設備の充実による介護従事者の確保を目指す傾向にあります。
今後の国県等の動向に注視し、今後の事業展開を図ります。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	150,419		163,604							
国・県	150,419		163,604							
利用者負担金										
その他										
一般財源										
人件費(千円)	750	人工	749	人工		人工		人工		人工
正規	667	0.09	692	0.09						
嘱託	82	0.03	57	0.02						
合計コスト +	151,169		164,353							
前年度比	-		108.7%							

事務事業評価票

事務事業名	松風園管理運営事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	松風園管理運営事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
松本版総合戦略	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
			健康・医療産業の創出・育成

< 事業の狙い >

事業計画年度

S55～

居住環境や家庭の問題により、自宅において生活することが困難な高齢者の権利擁護をするものです。
 施設、整備等の耐用年数経過による老朽化に伴い、改修及び設備の更新を行い、利用者の安全確保、サービス環境を整える必要があります。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

養護老人ホームに入所措置をとり、その者の生活維持にかかる経費を施設に支払うものです。国で決められた単価により計上し、支出しています。
 施設の維持管理は指定管理納付金を財源とし、施設の改修、更新を計画的に進めるものです。

- 1 建設年度
 昭和55年度(建築経過年数38年)
- 2 管理運営
 指定管理・利用料金制委託料併用方式
- 3 内容
 家庭の問題等により自宅において生活困難な高齢者の権利擁護及び、利用者のサービス向上のための、施設・設備の改修等
- 4 修繕等実績

(1) 平成27年度 食器消毒保管庫の更新等	総額 2,788,560円
(2) 平成28年度 食器洗浄機の更新	総額 3,678,480円
(3) 平成29年度 空調設備入替工事等	総額 7,595,640円

< 現状に対する認識 >

納付金の範囲内で実施できており、今後の維持管理計画に基づき、事業費の平準化等を図りながら、事業を展開していくものです。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	174,763		175,305				
国・県							
利用者負担金	38,260		41,519				
その他	12,664		16,052				
一般財源	123,839		117,734				
人件費(千円)	871	人工	964	人工		人工	
正規	775	0.1	865	0.11			
嘱託	96	0.0	99	0.03			
合計コスト +	175,634		176,269				
前年度比	-		100.4%				

事務事業評価票

事務事業名	城山介護老人保健施設管理運営事業
-------	------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	城山介護老人保健施設管理運営事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

H10~

介護を必要とする高齢者の方への看護・介護サービスや機能訓練などにより、心身の自立と在宅復帰の援助をする施設である、保健・医療・福祉サービス機能を備えた介護保険施設の維持管理をするものです。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

平成28年度までは、特別会計を設置し、指定管理者委託料金制度により、本市からは委託料と施設整備費(工事費)及び建設費の市債償還費を支出していました。

平成29年度からは、指定管理者利用料金独立採算制を採用し、本課からの支出は、指定管理者との協定に基づき、30万円以上の修繕や各種工事請負費となりました。

(単位:円)

		H29
工事請負費	本館冷温水発生機更新工事	33,123,600
	台風倒木樹木撤去工事	645,840
修繕料	2階電気錠システム交換修繕	1,051,920
合計		34,821,360

< 現状に対する認識 >

介護老人保健施設は、在宅復帰を目指す施設であり、国は介護保険制度において在宅介護を推奨していることから、重要な役割を担っています。

平成29年度から指定管理者利用料金独立採算制度に移行し、事業を継続していくものです。指定管理者の収支の1/2を納付金として収納し、施設の維持管理に充当していく計画となっています。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	松本市城山介護老人保健施設維持管理計画進捗状況(累計)				
指標の設定理由	適切な施設運営の指標となるため				
目標値	140,699	140,699	140,699	140,699	140,699
実績値	59,298	94,119			
達成度	42.1%	66.9%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	692,564		34,821		5,240	1,300	1,930
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	692,564		34,821				
人件費(千円)	3,370	人工	171	人工		人工	
正規	2,999	0.390	154	0.02			
嘱託	371	0.130	17	0.006			
合計コスト +	695,934		34,992				
前年度比	-		5.0%				

事務事業評価票

事務事業名	老人福祉施設措置事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	老人福祉施設措置費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 事業の狙い >

事業計画年度

居住環境や虐待等家庭の問題などにより自宅において生活することが困難な高齢者の権利擁護をするものです。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

養護老人ホームに入所措置をとり、その者の生活維持にかかる経費を施設に支払うものです。国で決められた単価により計上し、支出しています。

措置人員 (単位:人)

	H27	H28	H29
松風園	94	94	92
それ以外	86	92	95

それ以外...岡谷和楽荘、聖母寮、寿和寮、木曾寮、鹿島荘、普携寺香風園、光の園、温心寮、安曇寮
 数値は各年度3月31日現在

< 現状に対する認識 >

介護認定・障害認定の有無等、入所者の身体的な状況により措置費の増減が生じますが、入所者数は増加傾向にあるため、状況を注視し予算要求等に反映していきます。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	自宅生活困難な高齢者を擁護する事業のため目標設定不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	352,479		359,018							
国・県										
利用者負担金	85,701		92,164							
その他										
一般財源	266,778		266,854							
人件費(千円)	904	人工	1,014	人工		人工		人工		人工
正規	804	0.10	929	0.12						
嘱託	99	0.03	86	0.03						
合計コスト +	353,383		360,032							
前年度比	-		101.9%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者緊急通報装置設置事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者緊急通報装置設置事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

ひとり暮らし高齢者、重度の身体障害者等の救急、救助活動の充実を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

災害、事故、急病等の緊急事態に機敏に行動することが困難なひとり暮らし高齢者、重度の身体障害者を対象に緊急通報装置を設置するもの

< 現状に対する認識 >

平成26年10月から民間事業者に業務委託している。事業の周知を行い利用の拡大を図っていく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	高齢者緊急通報装置設置台数				
指標の設定理由	見守り体制の強化				
目標値	500	500	500	500	500
実績値	463	459			
達成度	92.6%	91.8%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	9,448		11,107							
国・県										
利用者負担金	1,737		1,768							
その他										
一般財源	7,711		9,339							
人件費(千円)	422	人工	518	人工		人工		人工		人工
正規	308	0.04	461	0.06						
嘱託	114	0.04	57	0.02						
合計コスト +	9,870		11,625							
前年度比	-		117.8%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者お薬支援事業 高齢者口腔ケア支援事業
-------	--------------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	在宅介護24時間あんしん支援事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

①高齢者の歯科衛生及び口腔機能の向上を図るため、松本歯科医師会が、実施している、特別養護老人ホーム等入所者の歯科検診等指導に、当該事業費の一部を補助することにより、栄養改善、介護予防を図るもの。
②松本市薬剤師会へ委託、35地区の福祉ひろばを利用し、高齢者の服薬についての指導や相談を行ない、正しい知識を習得し、介護予防に努めるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 歯科医師会への補助金
申請受付、松本市補助金要綱に基づき、補助金交付を決定
決定を受け、市内3施設の特別養護老人ホーム入所者の歯科検診等を実施した、松本市歯科医師会に補助金を支出します。
- 2 松本市薬剤師会へ業務委託(事業名:松本市お薬なんでも講座)
松本薬剤師会が、業務委託契約により、市内の福祉ひろばにて実施
高齢者の、安全・安心な服用を通じて介護予防に努めている。

(単位:人)

		H27	H28	H29
1	健診者数(人)	226	209	215
	義歯ネーミング数(床)	64	54	45
2	開催箇所	21	29	30
	参加者数(人)	822	1,151	1,052

<現状に対する認識>

今後も継続していくのか、歯科医師会、薬剤師会とも協議しながら、今後の事業展開を図ります。

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	
	主な取組み	
	5つの重点目標	
	松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	松本市お薬なんでも講座参加者数(人)				
指標の設定理由					
目標値	850	900	950	1,000	1,050
実績値	1,151	1,052			
達成度	135.4%	116.9%			
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	420	420			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	420	420			
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	人工
正規	0	0.0003	0	0.0002	
嘱託	0	0.0001	0	0	
合計コスト①+②	420	420			
前年度比	—	100.0%			

事務事業評価票

事務事業名	ナイトケア利用料金助成事業 生活管理指導短期宿泊事業 高齢者住宅等整備事業
-------	---

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	在宅介護24時間あんしん支援事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者の自立支援や介護者の介護負担軽減を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- ナイトケア利用料金助成事業
 デイサービスセンター等の利用者が引き続きその施設へ宿泊する場合に、利用料金の一部を助成するもの
 ・対象者 要介護(要支援)認定者
 ・補助額 費用の7割(7,000円を上限)
 ・利用 年間12泊以内(1カ月3泊以内)
 ・平成29年度実績 申請者数351人
- 生活管理指導短期宿泊事業
 一時的に在宅生活が困難となった1人暮らし等の高齢者を、養護老人ホーム(松風園、温心寮)で短期間入所受入れするもの
 ・利用者負担 1日400円(食費別)
 ・平成29年度実績 32人
- 高齢者住宅等整備事業
 高齢者の居住環境の改良に要する経費に対して助成し、高齢者ができるだけ自宅で生活できるよう支援するとともに、家族介護者の負担軽減を図るもの
 ・対象者 前年所得税非課税世帯
 ・補助対象限度額 70万円
 ・自己負担額 補助対象額の1割
 ・平成29年度実績 10件

< 現状に対する認識 >

事業に対する需要があり、引き続き事業を継続して高齢者の自立支援や介護負担軽減に寄与する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	ナイトケア利用料金助成券延べ利用者数(人)				
指標の設定理由	在宅介護支援の指標となるため				
目標値	1,350	1,400	1,450	1,500	1,600
実績値	1,483	1,698			
達成度	109.9%	121.3%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	22,269	15,394			
国・県	5,330	4,270			
利用者負担金					
その他					
一般財源	16,939	11,124			
人件費(千円)	22,766	人工 13888	人工	人工	人工
正規	16,610	2.16	9612.5	1.25	
嘱託	6,156	2.16	4275	1.50	
合計コスト +	45,035	29,282			
前年度比	-	65.0%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	寝台タクシー利用料金助成事業 公共交通空白地有償運送事業
-------	---------------------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	在宅介護24時間あんしん支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

12~

- 寝台タクシーの利用料を助成することで、低所得の要介護認定者の通院や施設利用時の負担軽減をはかるもの
- 交通機関空白の過疎地における移動手段確保のため道路運送法の許可を得て運送事業を行うNPO団体等に、事業実績に基づいて補助金を支払い、その活動を支援するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 要介護3以上の住民税非課税世帯で、通常車両への乗車が不可能な者に対して、年間6枚の寝台タクシーの利用券を助成

寝台タクシー利用料金助成実績

	H27	H28	H29
件数	32	41	56
補助金額(円)	85,375	115,680	174,680

- 四賀・安曇・奈川地区に居住する、65歳以上の高齢者または障害者手帳の交付を受けている者等の通院等に係る送迎を行った際、その走行距離に応じて送迎を行ったNPO団体等に補助金支出

公共交通空白地有償運送実績

	H27	H28	H29
件数	2,522	2,034	2,154
補助金額(円)	6,609,800	5,077,800	5,188,200

< 現状に対する認識 >

当該事業に係る市民の移動手段確保のため、引き続き助成を行います。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	過疎地かつ高齢者・障害者を対象とした事業のため目的設定が不適当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	5,193		5,710							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,193		5,710							
人件費(千円)	26	人工	28	人工		人工		人工		人工
正規	23	0.003	25	0.003						
嘱託	3	0.001	3	0.001						
合計コスト +	5,219		5,738							
前年度比	-		110.0%							

事務事業評価票

事務事業名	高齢者訪問理美容料金助成事業 緊急ショートステイ事業
-------	-------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	在宅介護24時間あんしん支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

介護者の介護負担軽減や高齢者の衛生保持を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 高齢者訪問理美容料金助成事業
外出できない重度の要介護高齢者を対象に、訪問理美容料金の一部について助成
・事業内容 1枚3,000円の助成券を最大年6枚交付(～平成29年度)
(平成30年度～) 1枚1,000円の助成券を最大年18枚交付
・平成29年度実績 申請者数152人
- 2 緊急ショートステイ事業
介護者の急病などにより、一時的に在宅での生活が困難となった要介護高齢者を、養護老人ホーム温心寮で短期間(概ね1週間)入所受入れするもの
・対象者 要介護(要支援)認定者
・利用者負担 1日1,450円(食費別)
・平成29年度実績 1人

< 現状に対する認識 >

・事業に対する需要があり、引き続き事業を継続して介護負担軽減や衛生保持に寄与する。

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	訪問理美容料金助成券利用枚数(1,000円券に換算)(枚)				
指標の設定理由	在宅介護支援の指標となるため				
目標値	1,300	1,310	1,350	1,370	1,380
実績値	1,332	1,068			
達成度	102.5%	81.5%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	1,384		1,159							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,384		1,159							
人件費(千円)	1,476	人工	1111	人工		人工		人工		人工
正規	1,077	0.14	769	0.1						
嘱託	399	0.14	342	0.12						
合計コスト +	2,860		2,270							
前年度比	-		79.4%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護保険利用者負担軽減事業
-------	---------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	介護保険利用者負担軽減事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

低所得で生計が困難な方について、介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人等が、その社会的な役割にかんがみ、利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用促進を図ることを目的とするもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 社会福祉法人等利用者負担軽減確認証の発行
申請受付及び審査に基づき確認証を発行し、確認証の提示を受けた各法人等は、確認証に記載された段階に応じて、介護サービス等の自己負担分を減免することで、低所得者の負担軽減を図っています。
- 2 各法人への補助金
国の制度に基づき、県費及び市費を財源として、上記1により利用者の自己負担分を軽減した法人に対して、補助金を支出します。

< 現状に対する認識 >

国の制度改正により、対象要件(所得要件)が厳格化されるなど、事業としては縮小傾向にあります。国県等の動向に注視し、今後の事業展開を図ります。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	低所得者への負担軽減のため目的設定が不適当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	13,495		13,568							
国・県	2,607		2,290							
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,888		11,278							
人件費(千円)	67	人工	61	人工		人工		人工		人工
正規	60	0.01	55	0.01						
嘱託	7	0.00	6	0.00						
合計コスト +	13,562		13,629							
前年度比	-		100.5%							

事務事業評価票

事務事業名	老人デイサービス事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	老人デイサービス事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
			松本版総合戦略		健康・医療産業の創出・育成

< 事業の狙い >

事業計画年度	29~33
--------	-------

施設、整備等の耐用年数経過による老朽化に伴い、改修及び設備の更新を行い、利用者の安全確保、サービス環境を整える必要があるもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

指定管理納付金を財源とし、施設の改修、更新を計画的に進めるもの

- 建設年度
平成5年度～平成11年度(建築経過年数:19～25年)
- 対象施設
11施設
- 管理運営
指定管理・利用料金制(独立採算方式)
- 事業内容
施設及び設備の改修工事等
- 維持管理実績

(1) 平成27年度 北部デイ 特殊浴槽更新等	総額	23,299,920円
(2) 平成28年度 島内デイ 特殊浴槽更新等	総額	17,604,540円
(3) 平成29年度 北部デイ スプリンクラー設置工事等	総額	38,369,160円

< 現状に対する認識 >

民間経営のノウハウや技術等の活用により、市の関与、費用負担の抑制等、デイのあり方について、民間移行を検討する。

< 指標の達成状況 >

	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	21,228	39,866			
国・県					
利用者負担金					
その他	17,604	38,369			
一般財源	3,624	1,497			
人件費(千円)	104	174			
正規	92	154			
嘱託	11	20			
合計コスト +	21,332	40,040			
前年度比	-	187.7%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護保険事業計画見直し事業
-------	---------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	介護保険事業計画見直し事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

27 ~ 29

団塊の世代が後期高齢者となる2025年の介護需要を見据え、第6期介護保険事業計画を礎にして、地域包括ケアシステム・松本モデルや、新しい介護予防・日常生活支援総合事業、認知症施策を構築する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 介護予防・日常生活支援総合事業の開始
予防給付のうち、訪問介護・通所介護を地域支援事業に移行
- 2 地域包括支援センターの機能強化
8 12センターへ増設
- 3 高齢者等実態調査の実施
要介護・要支援認定者3000名、認定者を除く高齢者1000名に対し、介護サービスの利用状況や生活実態等を調査し、結果を基礎資料として第7期計画策定に活かす。

< 現状に対する認識 >

地域包括ケアシステム・松本モデルの構築を柱として、高齢者が住み慣れた地域で自立し、尊厳をもった生活が送れるための体制づくりを反映した計画策定に努める。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	1,225		1,401							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,225		1,401							
人件費(千円)	6	人工	7	人工		人工		人工		人工
正規	5	0.0007	7	0.001						
嘱託	1	0.0002	1	0.000						
合計コスト +	1,231		1,408							
前年度比	-		114.4%							

事務事業評価票

事務事業名	高齢者介護手当等給付事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者介護手当等給付事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

重度の要介護者を家庭で介護している者及び家族の福祉の増進を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

<p>重度の要介護者(要介護3の方)を家庭で介護している介護者に介護手当を支給するもの</p> <p>1 対象者 65歳以上の要介護者を、基準日(11月1日)または死亡日において、1年間通算して180日以上または、前年の基準日から死亡日までの間に通算して90日以上180日未満在宅介護している者</p> <p>2 支給額 年額 10万円 (死亡の場合、前年の基準日から死亡日までの間に通算して90日以上180日未満在宅介護している場合は5万円)</p>
--

< 現状に対する認識 >

平成30年度から、支給基準日を年1回から年2回に見直し、早期に支払ができるようにします。
1 基準日 11月1日 5月1日又は11月1日
2 支給時期 12月 6月又は12月

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	87,997		82,119							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	87,997		82,119							
人件費(千円)	4,427	人工	5,721	人工		人工		人工		人工
正規	3,230	0.42	5,092	0.66						
嘱託	1,197	0.42	629	0.22						
合計コスト +	92,424		87,840							
前年度比	-		95.0%							

事務事業評価票

事務事業名	認定調査事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	認定調査費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

介護の必要な方や介護が必要となるおそれのある方が、要介護(要支援)認定を受けることにより、介護保険による在宅や施設の介護(予防)サービスを利用できるようになり、要介護(要支援)者の自立支援や介護者の負担軽減が図られる

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業の内容
認定調査員が自宅、病院、施設等を訪問して、要介護(要支援)者の心身の状況等を調査する。実施後、介護認定審査会での審査・判定を経て、要介護(要支援)認定を行ない、対象者に通知する。
2 実績
平成29年度 認定者数 8,832人

< 現状に対する認識 >

高齢者人口の増加に伴い、引き続き同水準の申請件数が見込まれ、迅速かつ適切に要介護(要支援)認定を行ない、介護保険制度の安定運営を図る必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	92,096		87,434							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	92,096		87,434							
人件費(千円)	99,181	人工	85,025	人工		人工		人工		人工
正規	72,363	9.41	58,829	7.65						
嘱託	26,819	9.41	26,196	9.19						
合計コスト +	191,277		172,459							
前年度比	-		90.2%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護認定審査会共同設置負担金
-------	----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	介護認定審査会共同設置負担金

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

各種介護保険サービスを利用するために必要な、要介護・要支援認定について、審査判定業務を、保険者からの委託を受けた松本広域連合が実施しています。
構成市村からの負担金を運営の財源としています。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本広域連合規約による均等割り及び実績割り(前々年度審査件数割合)により定められた金額を負担金として支出します。

(単位:円)

	H27	H28	H29
介護認定審査会共同設置負担金	44,036,000	48,193,000	43,361,000

< 現状に対する認識 >

適正かつ公平な介護認定を行うために必要

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	負担金のため目標設定不可				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	48,193		43,361							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	48,193		43,361							
人件費(千円)	179	人工	178	人工		人工		人工		人工
正規	154	0.02	154	0.02						
嘱託	26	0.009	24	0.008						
合計コスト +	48,372		43,539							
前年度比			-		90.0%					

事務事業評価票

事務事業名	介護保険給付
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	介護保険給付費(款)

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
	主な取組み
	5つの重点目標
	松本版総合戦略

< 事業の狙い >

事業計画年度

H12

介護保険制度に基づき、要介護・要支援認定を受けた被保険者になされる在宅介護や施設介護などのサービスへ給付するもの
保険料50%と公費(国・県・市)50%が財源。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

介護保険サービス事業者及び被保険者から提出される介護給付費請求明細書等の審査及びその決定に基づく支払

要介護1~5	要支援1・2
居宅介護サービス費	介護予防サービス給付費
特例居宅介護サービス費	特例介護予防サービス給付費
地域密着型介護サービス給付費	地域密着型介護予防サービス給付費
特例地域密着型介護サービス給付費	特例地域密着型介護予防サービス給付費
施設介護サービス給付費	介護予防福祉用具購入費
特例施設介護サービス給付費	介護予防住宅改修費
居宅介護福祉用具購入費	介護予防サービス計画給付費
居宅介護住宅改修費	特例介護予防サービス計画給付費
居宅介護サービス計画給付費	

< 現状に対する認識 >

超高齢社会の進展に比例し、全国的に保険給付費が増大し、介護保険財政への圧迫が課題となっています。
介護給付費へ至らないためにも、予防事業の充実が必要となっています。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	第6期介護保険事業計画に基づく計画値(単位:円)				
指標の設定理由	達成率が100%を超えると赤字となる				
目標値	20,412,580,000	20,429,829,000	20,071,939,000	20,665,786,000	21,299,408,000
実績値	19,494,883,669	19,574,891,581			
達成度	95.5%	95.8%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	19,494,883	19,574,891			
国・県	12,900,049	12,943,788			
利用者負担金					
その他(保険料)	4,158,083	4,184,725			
一般財源	2,436,750	2,446,378			
人件費(千円)	97,139	107,770			
正規	86,459	96,740			
嘱託	10,681	11,030			
合計コスト +	19,592,022	19,682,661			
前年度比	-	100.5%			

事務事業評価票

事務事業名	訪問型サービス事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	訪問型サービス事業

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標		1	健康とくすなづくり
	松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度

住民等多様な主体が参画する市町村独自の多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、適切なサービスにより要支援者等に対する効果的な自立支援を可能とすることを旨とする。さらに、訪問型・通所型サービスのみを利用する場合は迅速なサービス利用も可能となった。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

現行の訪問型サービス(介護予防相当)に加えて、有資格者による身体介護を伴わない緩和した基準によるサービス(訪問型サービスA)を実施

1 訪問型サービス指定状況	H28年度	H29年度
・介護予防相当	61事業所	56事業所
・サービスA	11事業所	15事業所
2 訪問型サービス利用状況	H28年度	H29年度
・介護予防相当	5,149件	8,935人
・サービスA	67人	437人

< 現状に対する認識 >

・平成28年度1年間かけて、地域支援事業へ完全移行した。
 ・サービス内容について、ケアマネジメント時に利用者へ十分な説明を行い、緩和した基準のサービス等を選択できるように進める。
 ・サービス事業参入に向けた、ボランティア等の住民主体の組織による活動への支援を進める。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	サービスA利用者数 延べ件数/年				
指標の設定理由	サービスの利用状況が直接的に分かるため				
目標値	80	450	1,000	1,600	2,250
実績値	67	437			
達成度	83.8%	97.1%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	79,395		168,167							
国・県	29,773		63,062							
利用者負担金										
その他	39,697		84,083							
一般財源	9,925		21,022							
人件費(千円)	12,373	人工	15,821	人工		人工		人工		人工
正規	10,920	1.42	13,534	1.76						
嘱託	1,454	0.51	2,287	0.80						
合計コスト +	91,768		183,988							
前年度比	-		200.5%							

事務事業評価票

事務事業名	通所型サービス事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	通所型サービス事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 事業の狙い >

事業計画年度

住民等多様な主体が参画する市町村独自の多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、適切なサービスにより要支援者等に対する効果的な自立支援を可能とすることを旨とする。さらに、訪問型・通所型サービスのみを利用する場合は迅速なサービス利用も可能となった。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

現行の通所型サービス(介護予防相当)に加えて、人員等緩和した基準によるサービス(通所型サービスA)や6か月間の短期集中予防サービス(通所型サービスC)を実施

1 通所型サービス指定状況	H28年度	H29年度
・介護予防相当	100事業所	97 事業所
・サービスA	10事業所	12 事業所
・サービスC	10事業所	11 事業所
2 通所型サービス利用状況	H 28年度	H29年度
・介護予防相当	10,900人	20,460人
・サービスA	1,640人	1,732人
・サービスC	220人	100人

< 現状に対する認識 >

・平成28年度1年間かけて、地域支援事業へ完全移行した。
 ・サービス内容について、利用者に十分な説明を行い、緩和した基準のサービス等を選択できるように進める。
 ・ボランティア等住民主体の組織によるサービスへの支援を進める。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	サービスA利用状況 述べ件数/年				
指標の設定理由	サービス利用状況が直接的に分かるため				
目標値	1,800	1,850	1,900	1,950	2,000
実績値	1,640	1,732			
達成度	91.1%	93.6%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	275,862	591,358			
国・県	103,448	221,759			
利用者負担金					
その他	137,931	295,679			
一般財源	34,483	73,920			
人件費(千円)	43,196	55,715			
正規	38,066	47,678			
嘱託	5,130	8,037			
合計コスト +	319,058	647,073			
前年度比	-	202.8%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護予防ケアマネジメント事業
-------	----------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	1	健康とくすなづくり	
				松本版総合戦略		

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	介護予防ケアマネジメント事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

全国一律の介護予防給付から地域の実情に応じた、住民等多様な主体が参画する市町村独自の多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対する効率的な自立支援を可能とすることを旨とする。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

高齢者の個々の状態にあったサービス(訪問型・通所型・その他の生活支援等)を効率的に実施できるよう支援する。

1 介護予防ケアマネジメント	H28年度	H29年度
・ケアマネジメントA(原則的マネジメント)	8,329件	14,105件
・ケアマネジメントB(簡略型)	1,350件	1,192件

< 現状に対する認識 >

地域の実情に応じた、自立支援のケアマネジメントが実施できるよう、ケアマネジメントの質の確保を目指し、高齢者自身が自立した日常生活を送れるよう支援する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	ケアマネジメントB 作成件数/年				
指標の設定理由	多様なサービスの利用状況が反映されるため				
目標値	1,500	1,500	1,600	1,600	1,700
実績値	1,350	1,192			
達成度	90.0%	79.5%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	38,077		64,564				
国・県	14,278		24,211				
利用者負担金							
その他	19,038		32,283				
一般財源	4,761		8,070				
人件費(千円)	5,942	人工	6,007	人工		人工	
正規	5,229	0.68	5,152	0.67			
嘱託	713	0.25	855	0.30			
合計コスト +	44,019		70,571				
前年度比	-		160.3%				

事務事業評価票

事務事業名	介護予防対象者把握事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	介護予防対象者把握事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

地域の实情に応じて、効率的に収集した情報等の活用により、閉じこもり等の何らかの支援を要する高齢者を早期に把握し、介護予防活動へつなげる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

健康自立度調査
平成29年4月1日現在、満65歳、75歳の第1号被保険者(事業対象者・要支援・要介護認定者を除く)を対象に、閉じこもり等何らかの支援を有する者を、国が示した「基本チェックリスト」により基準該当者を把握する。

1 調査結果			
回収率	75.3%(28年度72.3%)		
対象者	回答者数	基準該当者数	出現率
65歳	1,959人	318人	16.2%(28年度19.1%)
75歳	2,031人	516人	26.6%(28年度27.6%)
合計	3,990人	858人	21.5%(28年度22.9%)

2 基準該当者の実態把握率(3月末までの期間で集計・報告いただくもの)

基準該当者数	858人
実態把握者数	483人
実態把握率	56.3%

< 現状に対する認識 >

地域包括支援センターの総合相談業務や、地域活動、関係部局との連携による把握の他に、市独自の把握方法として年齢を限定して健康自立度調査を実施している。
回答率の向上と、そこから把握した基準該当者への対応により介護予防活動や事業へどのようにつないでいくかが課題である。

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
				松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	介護予防のための自立度調査回収率(%)				
指標の設定理由	調査実施自体の評価が直接できるため				
目標値		73.0	76.0	76.0	76.0
実績値	72.3	75.3			
達成度		103.2%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	2,628	2,429			
国・県	985	910			
利用者負担金					
その他	1,314	1,214			
一般財源	329	305			
人件費(千円)	410	187			
正規	361	0.05	154	0.02	
嘱託	48	0.02	33	0.01	
合計コスト +	3,038	2,616			
前年度比	-	86.1%			

事務事業評価票

事務事業名	介護予防普及啓発事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	介護予防普及啓発事業

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取り組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
	5つの重点目標	1	健康とくすなづくり
	松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

介護予防への関心を高めるため、身近な地域で講座を開催し、より多くの市民に介護予防に関する知識や情報を提供する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 介護予防講座の実施 地区の実情に合わせ、地区担当保健師が地区関係職員と共に計画実施内容は、脳卒中予防および認知症予防・運動機能向上・口腔機能改善・栄養改善・こころの健康等介護予防に関わるいずれかの集団講話・集団実技 講座開催数 78回 講座参加延数 1918人
2 ひざ痛予防講座の実施 介護予防講座のうち、継続した取り組みへとつなげるために、12回コースの運動講座を実施。 ひざ痛予防の運動を主として行い、講座終了後は自主的に実施できるよう指導 講座開催数 4講座(×12回=48回) 講座参加延数 671人

< 現状に対する認識 >

開催数・参加者数ともにほぼ予定通り。現行では、介護予防講座とひざ痛予防教室の関係、自主グループ立ち上げについて、効率的、効果的でない。そこで、介護予防講座と言う単発的な教室の開催をやめ、住民自ら介護予防に取り組みたいと思い、行動できるよう支援する方法へ変更する。具体的には、JAGES等による地区分析を行い、介護予防の必要性を周知、自主的にやりたいたいと思う住民に対して運動指導を行なう。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	介護予防講座開催数				
指標の設定理由	介護予防に関する知識の普及ができた回数				
目標値	118	118			
実績値	158	113			
達成度	133.9%	95.8%			
成果指標(指標名)	介護予防講座参加者数(人)				
指標の設定理由	介護予防に関する知識の普及ができた人数				
目標値	3,410	2,470			
実績値	3,113	2,205			
達成度	91.3%	89.3%			

目標値

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	1,576	1,505			
国・県	591	564			
利用者負担金	0	0			
その他	788	752			
一般財源	197	189			
人件費(千円)	20,850	人工 13,516	人工	人工	人工
正規	19,225	2.5	11,233	1.48	
嘱託	1,625	0.57	2,283	0.79	
合計コスト +	22,426	15,021			
前年度比	-	67.0%			

事務事業評価票

事務事業名	地域介護予防活動支援事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	地域介護予防活動支援事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	1	健康とくすなづくり
			松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度	
--------	--

住民主体の通いの場等の活動を地域の実情に応じて効果的かつ効率的に支援し、誰でも一緒に参加できる介護予防活動の地域展開を目指す。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

住民主体の介護予防活動に携わるボランティア等の、担い手の人材を育成するための講座を開催

1 高齢者サポーター養成講座の開催

(1) 回数 1コース10回
 (2) 参加者 99人(28年度94人)
 (3) 修了者 93人(28年度87人)(10回中5回以上の出席者)
 (4) 修了率 93.9%(28年度92.5%)(修了者/参加者の割合)
 (5) 内容
 ア 松本市の高齢者福祉について
 イ 高齢者の心身の特性
 ウ 傾聴的な関わり方・接し方
 エ 介護の基本、介護用品と効果
 オ 認知症予防の生活の工夫と運動
 カ ボランティア活動と守秘義務
 キ 住民主体の通いの場、先進事例報告
 ク 孤立死予防
 ケ ボランティア活動に向けたグループワーク 等

< 現状に対する認識 >

平成28年度から実施、修了者(高齢者サポーター)のスキルアップと、実際の活動につなげていこう、今後は、地域包括支援センターに配置している第1層の生活支援コーディネーターが中心となって、意向調査や地域ニーズを把握していく必要がある。

< 指標の達成状況 >

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	高齢者サポーター養成講座修了者数(人)					
指標の設定理由	地域の支え手となる新たな高齢者サポーターの数を把握できるため					
目標値	90	90	90	90	90	
実績値	87	93				
達成度	96.7%	103.3%				
成果指標(指標名)	高齢者サポーター養成講座修了率(%)					
指標の設定理由	年度ごと講座数、定員が変更になっても評価できるため					
目標値	90	93	94	94	94	
実績値	92.5	93.9				
達成度	102.8%	101.0%				

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	32	33			
国・県	12	12			
利用者負担金					
その他	16	16			
一般財源	4	5			
人件費(千円)	5	3			
正規	5	0.0006	2	0.0003	
嘱託	1	0.0002	0	0.0001	
合計コスト +	37	36			
前年度比	-	95.7%			

事務事業評価票

事務事業名	介護報酬審査
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	介護報酬審査費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

28

介護予防・日常生活支援総合事業の審査を国保連合会へ依頼することで、経費の削減及び専門職員による法律に照らした審査により保険請求の適正化が図れる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

介護事業者から請求された介護予防・日常生活支援総合事業サービス費の審査事務を、国民健康保険団体連合会へ依頼するもの

< 現状に対する認識 >

国保連合会へ依頼することで、経費の削減及び専門職員による審査により保険請求の適正化が図れることから今後も継続

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	1,099		2,242							
国・県	412		841							
利用者負担金										
その他	549		1,121							
一般財源	138		280							
人件費(千円)	174	人工	210.93	人工		人工		人工		人工
正規	154	0.02	180.72	0.02						
嘱託	20	0.01	30.21	0.01						
合計コスト +	1,273		2,453							
前年度比	-		192.7%							

事務事業評価票

事務事業名	総合相談事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	総合相談事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

地域の高齢者の困りごとの相談に応じ、どのような支援が必要か把握し、関係機関及び制度の利用につなげる等の支援を行い、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにする。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 地域包括支援センター・地域密着型サービス運営協議会 運営費
- 2 地域包括支援センター 運営費
- 3 地域包括支援センター介護予防支援事業(総合相談事業委託料)
相談件数 21,992件 (前年度18,580件) 対前年比 118%

< 現状に対する認識 >

平成28年から地域包括支援センターを12センターとし、よりきめ細やかな相談体制になり、市民サービスの向上に繋がった。今後も、予防を重視した相談から速やかに予防サービスの提供に努める。

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	1	健康とくすなづくり
				松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	地域包括支援センターへの相談件数				
指標の設定理由	地域包括支援センターは、高齢者の身近な相談窓口のため				
目標値	18,000	19,500	22,000	22,000	22,000
実績値	18,580	21,992			
達成度	103.2%	112.8%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	75,482		71,400							
国・県	44,156		41,769							
利用者負担金										
その他	16,606		15,708							
一般財源	14,720		13,923							
人件費(千円)	11,778	人工	6,661	人工		人工		人工		人工
正規	10,382	1.35	5,691	0.74						
嘱託	1,397	0.49	971	0.34						
合計コスト +	87,260		78,061							
前年度比	-		89.5%							

事務事業評価票

事務事業名	権利擁護事業費
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	権利擁護事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

29~

高齢者への虐待防止や認知症高齢者等への成年後見制度の活用・支援等を進め、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるようにする。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会の運営
- 2 成年後見支援センターとの連携(2市5村による運営費補助)
高齢者等の権利擁護のため、成年後見制度の啓発活動や相談・手続き等の支援
(1) 相談件数 695件(H28年度631件)
(2) 支援回数 12,928回(H28年度13,607回)

<現状に対する認識>

成年後見制度の必要性は高まる一方、本人の資力がなく、弁護士等へ依頼することができないため、法人後見制度を利用する案件が増加し、受任件数は今後も増加する見込み。市民後見人養成等、受任の体制整備を充実させることが必要。

また、今後各市村において、「成年後見制度利用促進基本計画」策定の検討と、中核機関の設立等に係る措置を進める必要がある。

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み	○地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標	1 健康ときずなづくり	
	松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	法人後見人受任件数				
指標の設定理由	成年後見制度の利用拡大を図る直接的な数値のため				
目標値	76	80	85	90	95
実績値	76	75			
達成度	100.0%	93.8%			
② 成果指標(指標名)	市民後見人受任件数(単独受任)				
指標の設定理由	成年後見制度の利用拡大を図る直接的な数値のため				
目標値	2	4	8	12	16
実績値	1	3			
達成度	50.0%	75.0%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	14,238	17,513			
国・県	83	81			
利用者負担金					
その他	31	30			
一般財源	14,124	17,402			
② 人件費(千円)	2,256	人工	1,651	人工	人工
正規	1,999	0.26	1,413	0.18	
嘱託	257	0.09	238	0.08	
合計コスト①+②	16,494	19,164			
前年度比	—	116.2%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地域包括ケアシステム構築事業
-------	----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	地域包括ケアシステム構築事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標		1	健康とくすなづくり
	松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳のある生活を可能な限り継続できるように、介護・医療・予防・生活支援・住まいの連携による「地域包括ケアシステム」の構築を目指す。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

地域包括ケアシステム構築のための取組み

- 地域包括ケア会議の開催
開催地区数: 34地区 開催回数: 74回
- 在宅医療・介護連携の実践に向けた多職種連携
(1) 多職種連携研修会
平成29年12月16日 参加者数: 134人
(2) 入退院時連携ルールの策定
- 市民への周知
(1) 市民啓発講演会
平成29年11月17日 参加者数: 85人
(2) 地域包括ケア取組み事例の周知
地域ケア会議から取組みがすすんだ事例集を作成し、関係職員や民生児童委員等へ周知

< 現状に対する認識 >

地域づくりの一環として、地域の合意形成のもとに医療と介護の専門職を含め、地域ケア会議を通じて、地域の顔が見える関係が出来始めていることから、今後も継続して取組み、地域包括ケアシステムの構築を図る。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	地域ケア会議の開催回数				
指標の設定理由	地域包括ケアシステム構築するうえでの一つの手法であるため				
目標値	50	60	70	70	70
実績値	48	74			
達成度	96.0%	123.3%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	5,058	5,056			
国・県	2,958	2,957			
利用者負担金					
その他	1,112	1,112			
一般財源	988	987			
人件費(千円)	778	人工 476	人工	人工	人工
正規	692	0.09	408	0.05	
嘱託	86	0.03	69	0.02	
合計コスト +	5,836	5,532			
前年度比	-	94.8%			

事務事業評価票

事務事業名	包括的・継続的ケアマネジメント事業
-------	-------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	包括的・継続的ケアマネジメント事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を継続できるよう、高齢者の変化に応じたケアマネジメント(介護保険サービスを利用するためケアプラン作成等)を行うため、ケアマネジャーとの相互の連携をはかる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	
1	地域包括支援センター介護予防ケアマネジメント実施状況 介護予防サービス計画 24,026人 ケアマネジメントA 14,105人 ケアマネジメントB 119.2人
2	地域ケア会議等開催 地域ケア会議へのケアマネジャーの参加 55回 延べ参加人数 92人 ケアマネジャーからの相談や困難事例等による個別ケア会議 17回 延べ参加人数 19人
3	ケアマネジャー勉強会の開催 開催回数 10回 参加者数 1,259人

< 現状に対する認識 >

身の周りの動作(ADL)は自立しているが、買物や調理などの生活行為の一部が行いにくくなっている(!ADL)人の、生活援助を行うためのマネジメントが適正に行えるよう、継続してケアマネの資質の向上を図る取組みが必要

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標		1	健康とくすなづくり
				松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	ケアマネジャー勉強会への事業所参加率				
指標の設定理由	適切なケアマネジメントを実施するためケアマネジャーへの研修を実施する				
目標値	76	75	75	75	75
実績値	68	69			
達成度	89.5%	92.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	60,543	61,688			
国・県	35,417	36,087			
利用者負担金					
その他	13,319	13,571			
一般財源	11,807	12,030			
人件費(千円)	9,494	人工	5,760	人工	
正規	8,382	1.09	4,922	0.64	
嘱託	1,112	0.39	839	0.29	
合計コスト +	70,037	67,448			
前年度比	-	96.3%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護給付費等費用適正化事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	介護給付費等費用適正化事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取り組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標		1	健康ときずなづくり
	松本版総合戦略		健康・医療産業の創出・育成

< 事業の狙い >

事業計画年度

介護保険事業を持続可能なものとするため、利用者に対する適正な介護サービスを確保し、適正な介護給付を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- ケアプランの点検
居宅介護支援事業所等への訪問や、介護支援専門員と保健福祉関係課職員等が出席する検討会の開催により、介護支援専門員が作成したケアプランの点検を行う。
- 介護給付算定相談票による介護給付算定内容の確認
居宅介護支援事業所の介護支援専門員から、必要な場合に介護給付算定相談票の提出を受け、適切な介護給付であるかを確認する。
- 介護保険派遣相談員の派遣
公募によって委嘱した6名の介護保険派遣相談員を介護保険事業所に派遣する。利用者への相談活動を行い、事業所のサービス等に対する不平や不満などを聞き取り、事業者及び保険者に橋渡しすることで、それらが苦情となることを未然に防ぎ、介護サービスの質の向上を図る。

< 現状に対する認識 >

より効果的に事業を行うために、実施方法等の見直しを行う。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	適正な請求がされた介護保険の保険給付				
指標の設定理由	事業者がルールに従って適正に請求することが制度の信頼性を高めるため				
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	100%	100%			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	4,766		4,530							
国・県	2,788		2,650							
利用者負担金										
その他	1,049		997							
一般財源	929		883							
人件費(千円)	24	人工	17.66	人工		人工		人工		人工
正規	22	0.0028	15.38	0.002						
嘱託	3	0.0009	2.28	0.0008						
合計コスト +	4,790		4,548							
前年度比	-		94.9%							

事務事業評価票

事務事業名	訪問給食サービス事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	訪問給食サービス事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

食や栄養の確保による健康維持や疾病予防を図るとともに、配食の際に安否確認を行い、ひとり暮らし高齢者の孤独感の解消に努める。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市内に居住する65歳以上の高齢者、障害者のみで構成された世帯に、週2食(四賀、安曇、梓川6食)を上限に昼食を配食するもの。

業者、担当地区、H28実績(延べ食数、月平均利用者数)

松本福祉事業協同組合(銀のオープン)

本庁管内、寿台、寿、内田、松原 10,169食 125人/月
 労協ながの(ころぼっく)

寿台、寿、内田、松原を除く主張所管内及び本郷 8,686食 108人/月

松本市社会福祉協議会

四賀、安曇、奈川 3,618食 29人/月
 七つの鐘

梓川 6,496食 29人/月

ぼっかぼっか

波田 3,160食 36人/月

合計 32,129食 327人/月

< 現状に対する認識 >

現在5業者とは随意契約が続いている。
 四賀、安曇、梓川は、他の地区より食数の上限が高い。
 四賀、安曇は、委託料単価に地域加算が含まれている。
 委託料単価(税込)四賀:982.8円 安曇1,002.24円 その他:702円
 民間の配食業者が増え、事業の存在意識が低下している。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	年間利用食数				
指標の設定理由	食の確保及び見守り体制の強化				
目標値	31,361	32,100	32,100	32,100	32,100
実績値	32,129	30,603			
達成度	102.4%	95.3%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	23,731	33,822			
国・県	7,117	13,341			
利用者負担金	11,566	11,017			
その他	2,676	5,017			
一般財源	2,372	4,447			
人件費(千円)	1,159	1,487			
正規	846	1,344			
嘱託	314	143			
合計コスト +	24,890	35,309			
前年度比	-	141.9%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	家庭介護支援事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	家庭介護支援事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者の自立支援や介護者の介護負担軽減を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 徘徊高齢者家族支援事業
徘徊のおそれがある高齢者のいる世帯に探知機を貸与して、行方不明時の早期発見に役立つもの(月額500円 住民税非課税世帯月額150円)
・平成29年度実績 17人
- 軽度生活援助員派遣事業
草取りなどの軽度な生活支援を必要とする高齢者世帯へ、無料で生活援助員を派遣するもの(月1回 1時間以内)
・委託先 松本地域シルバー人材センター、松本市社会福祉協議会
・平成29年度実績 延べ1,658人
- 家庭介護用品支給事業
要介護4・5の高齢者を在宅介護している住民税非課税世帯に対し、紙おむつ等の購入費用を助成するもの(年間5万円が上限)
・平成29年度実績 252件

< 現状に対する認識 >

・事業に対する需要があり、引き続き事業を継続して高齢者の自立支援や介護負担軽減に寄与する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	軽度生活援助事業延べ利用者数(人)				
指標の設定理由	在宅介護支援の指標となるため				
目標値	2,200	2,300	2,400	2,500	2,600
実績値	1,868	1,658			
達成度	84.9%	72.1%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	13,351	12,644			
国・県	6,753	6,453			
利用者負担金	46	37			
その他	2,540	2,151			
一般財源	4,012	4,003			
人件費(千円)	12,859	10,794			
正規	9,382	7,459			
嘱託	3,477	3,335			
合計コスト +	26,210	23,438			
前年度比	-	89.4%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者介護手当等支給事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	家庭介護支援事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

重度の要介護者を家庭で介護している者及び家族の福祉の増進を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

重度の要介護者(要介護4・5の方)を家庭で介護している介護者に介護手当を支給するもの

1 対象者

65歳以上の要介護者を、基準日(11月1日)または死亡日において、1年間通算して180日以上または、前年の基準日から死亡日までの間に通算して90日以上180日未満在宅介護している者

2 支給額

年額 10万円
(死亡の場合、前年の基準日から死亡日までの間に通算して90日以上180日未満在宅介護している場合は5万円)

< 現状に対する認識 >

平成30年度から、支給基準日を年1回から年2回に見直し、早期に支払ができるようにします。

1 基準日 11月1日 5月1日又は11月1日

2 支給時期 12月 6月又は12月

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	69,701		70,388							
国・県	40,775		41,177							
利用者負担金										
その他	15,334		15,485							
一般財源	13,592		13,726							
人件費(千円)	3,467	人工	4,506	人工		人工		人工		人工
正規	2,529	0.33	4,010	0.52						
嘱託	937	0.33	495	0.17						
合計コスト +	73,168		74,894							
前年度比	-		102.4%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	#REF!
-----	-------	----	-------	-----	-------

事務事業名	成年後見制度利用支援事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	成年後見制度利用支援事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

親族等による法定後見開始審判の請求が期待できない高齢者について、市が申立てを行ない権利擁護を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 対象者
身寄りのない認知症の高齢者等
- 事業内容
審判申立費用負担(裁判所手数料)
後見人に対する報酬支払の補助
- 平成29年度実績 市長申立て 12件

< 現状に対する認識 >

老人福祉法に基づく制度であり、引き続き事業を実施して福祉の増進に寄与する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	成年後見制度利用支援事業利用者数(人)				
指標の設定理由	権利擁護の指標となるため				
目標値	15	18	20	23	25
実績値	14	12			
達成度	93.3%	66.7%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	83		60							
国・県	6		17							
利用者負担金	73		30							
その他	2		7							
一般財源	2		6							
人件費(千円)	105	人工	45	人工		人工		人工		人工
正規	77	0.01	31	0.004						
嘱託	29	0.01	14	0.005						
合計コスト +	188		105							
前年度比	-		55.7%							

事務事業評価票

事務事業名	認知症地域支援推進事業費
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	認知症地域支援推進事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標		1	健康とくすなづくり
	松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度

国の定める「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」に基づき、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて、本市の認知症施策の具体的な取組みを行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 松本市認知症施策推進協議会(年4回)
 - (1) 認知症市民啓発講演会
参加者数 183人
- 2 認知症初期集中支援チーム(7月より毎月開催/年9回)
- 3 認知症思いやり相談(年6回)
- 4 認知症サポーター養成講座
回数:110回 養成人数:3,823人 延べ人数:19,854人(平成30年2月末)
- 5 周知・啓発活動
 - (1) 各包括支援センターもの忘れ相談会
開催回数:132回 相談者数:166人(平成30年1月末)
 - (2) 認知症思いやりパスブック(認知症ケアパス)
 - (3) 思いやりあんしんカルテ
登録件数56件(平成30年2月末)
- 6 認知症カフェ開設支援
開設数 9か所(延16か所)
- 7 認知症地域支援推進員の育成及び配置(14人)
- 8 各包括キャラバン・メイト交流会(全包括各1回)
- 9 キャラバン・メイト全体研修・交流会開催(年1回)

< 現状に対する認識 >

認知症は、高齢者の問題ではない市民全体の課題として捉え、常日頃から健康診断の受診や、若い時からの規則正しい生活習慣を身に付けることが重要

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	認知症サポーター養成講座受講者数(延数 人)				
指標の設定理由	市民の理解の向上と、支え手を増やしていくため				
目標値	18,000	20,000	22,500	25,000	27,500
実績値	16,031	19,900			
達成度	89.1%	99.5%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	613	1,490			
国・県	358	871			
利用者負担金	0	0			
その他	134	327			
一般財源	121	292			
人件費(千円)	96	94			
正規	85	77			
嘱託	11	17			
合計コスト +	709	1,584			
前年度比	-	223.5%			

事務事業評価票

事務事業名	介護予防支援事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(サービス事業勘定)
予算中事業名	介護予防支援事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標		1	健康とくすなづくり
	松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者が「要介護状態になることを出来る限り防ぐ」「要介護状態になってもそれ以上悪化させないようにする」ために、高齢者自身が地域で自立した日常生活を送れるよう支援する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

要支援1・2及び事業対象者の方が、サービスを利用するために必要な予防プランの作成

- 1 中央地域包括支援センター
 介護予防ケアプラン作成委託料
 介護予防サービス計画 1,973件
 介護予防ケアマネジメント 1,566件

< 現状に対する認識 >

要介護状態になることを出来る限り防ぐため、支援や介護が必要となる可能性が高いと判断される高齢者を早期に発見して、介護予防教室への参加や介護予防ケアプランを立てるなど、要介護状態にならないように支援する。
 要介護状態になってもそれ以上悪化させないようにするために、介護予防ケアプランを立て、高齢者自身が自立した日常生活を送れるよう支援する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	介護予防講座等への参加のべ数				
指標の設定理由	予防講座等への参加者を増やし、要介護状態になることを防止するため。				
目標値	35,000	35,000	36,000	36,000	37,000
実績値	34,203	35,676			
達成度	97.7%	101.9%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	59,348		59,899							
国・県	34,718		35,042							
利用者負担金										
その他	13,056		13,177							
一般財源	11,574		11,680							
人件費(千円)	9,263	人工	5,566	人工		人工		人工		人工
正規	8,151	1.06	4,768	0.62						
嘱託	1,112	0.39	798	0.28						
合計コスト +	68,611		65,465							
前年度比	-		95.4%							

西部福祉課

課長 忠地 愛男

事務事業評価票

事務事業名	梓川老人福祉センター管理事業
< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	梓川老人福祉センター管理運営費

部局名	健康福祉部	課名	西部福祉課	課CD	05270000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	主な取組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援	
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
			松本版総合戦略	健康・医療産業の創出・育成	

< 事業の狙い >	事業計画年度	~
高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図る。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >	
1 事業の実施内容	
(1) 管理運営	松本市社会福祉協議会に指定管理
(2) 現在の利用状況	
ア 貸館関係	民生・児童委員協議会、高齢者クラブ連合会、梓川ボランティアの会、健康づくりサークル(太極拳、詩吟の会)、子育てサークル
イ 社会福祉協議会関係	地区社協(給食サービス、子育てサロン等)、梓川居宅会議支援事業所、梓川ヘルパーステーション等
2 活動指標	
貸館関係	平成29年度 利用者数7,904人

< 現状に対する認識 >
子供から高齢者まで幅広い年齢層に利用されている現状から、地域の福祉拠点として効果的に利用できるよう名称を変更 「梓川老人福祉センター」 「梓川福祉センター」

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	施設の維持、拡充の指標として				
目標値	4,800	7,000	7,000	7,000	7,000
実績値	7,089	7,904			
達成度	147.7%	112.9%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度					
事業費(千円)	4,000	4,000								
国・県										
利用者負担金	4	13								
その他										
一般財源	3,996	3,987								
人件費(千円)	1,054	1,048				人工		人工	0	人工
正規	769	759				0.1		0.1		
嘱託	285	289				0.1		0.1		
合計コスト +	5,054	5,048								
前年度比	-	99.9%								

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	西部福祉課	課CD	05270000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	老人憩いの家事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取り組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康とくすなづくり	
			松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

< 事業の狙い >

事業計画年度

~ H30

高齢者の心身の健康増進及び福祉の向上を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 事業の実施内容
 平成28年度 安曇地区への協議、説明会の開催、事業廃止手続等
 平成29年度 解体工事、廃棄物処理
 平成30年度 道路復旧工事
- 活動指標
 利用者
 平成27年度 7,439人
 平成28年度 7,578人

< 現状に対する認識 >

高齢者の健康増進及び福祉の向上を図る目的で運営してきました安曇老人憩の家「銀山荘」について、施設に利用実態が、本来の機能は少なくなり、むしろ観光目的の利用となっており、施設の老朽化、今後使用し続けるには耐震工事が必要なことなどを総合的に判断し、一定の目的を果たしたと考え、施設を廃止することとしました。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	利用者(人)				
指標の設定理由	施設の維持、存続の指標として				
目標値	7,500	事業廃止につき目標値、実績値なし			
実績値	7,578				
達成度	101.0%				
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	9,692		25,391							
国・県										
利用者負担金										
その他			22,200							
一般財源	9,692		3,191							
人件費(千円)	10,653	人工	9,035	人工		人工		人工		人工
正規	9,228	1.2	7,590	1						
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5						
合計コスト +	20,345		34,426							
前年度比	-		169.2%							

事務事業評価票

事務事業名	老人集いの家事業
< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	老人集いの家事業費

部局名	健康福祉部	課名	西部福祉課	課CD	05270000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標		1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

< 事業の狙い > 事業計画年度 ~ 33

地域の高齢者の教養の向上と心身の健康の増進を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 事業実施の内容
 - 島々、橋場、稲核、沢渡4カ所の維持管理
 - 管理:各地区の老人集いの家運営協議会に指定管理
 - 管理運営費:指定管理者が負担
 - 指定管理期間:平成29年度~平成33年度
 - 指定期間終了後は廃止予定
- 活動指標

集いの家の利用者数	
平成29年度	島々 244人
	橋場 140人
	稲核 281人
	沢渡 337人

< 現状に対する認識 >

安曇地区に限定された施設であり、各施設とも老朽化が進み維持管理経費が高むようになっており、利用者が限られ、他地区との公平性を考慮し、平成33年度末に施設廃止の予定。

< 指標の達成状況 >	総合評価	B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	利用者数					
指標の設定理由	施設の維持、存続の指標として					
目標値	1,700	1,000	1,000	1,000	1,000	
実績値	1,012	1,002				
達成度	59.5%	100.2%				
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	127	271			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	127	271			
人件費(千円)	1,823	1,048			
正規	1,538	759			
嘱託	285	289			
人工	0.2	0.1			
	0.1	0.1			
合計コスト +	1,950	1,319			
前年度比	-	67.6%			

事務事業評価票

事務事業名	奈川ふれあいの家事業
< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	奈川ふれあいの家事業

部局名	健康福祉部	課名	西部福祉課	課CD	05270000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	主な取組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援	
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
			松本版総合戦略	健康・医療産業の創出・育成	

< 事業の狙い >	事業計画年度	~
山間地域の高齢者の生きがいと健康増進及び在宅独居が困難な高齢者への居住支援により高齢者福祉の向上を図る。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >	
1 事業の実施内容	
(1) 管理運営 松本市社会福祉協議会に指定管理	
(2) 施設の概要 ア 居住施設 一人部屋3室 2人部屋1室 イ 共同作業室、台所、便所	
2 活動指標	
利用者数	
平成29年度	居住施設 0人 共同作業室 428人

< 現状に対する認識 >
近年居住施設利用者が減少しているので、関係機関と有効利用について検討が必要。

< 指標の達成状況 >	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	施設の維持、存続の指標として				
目標値	900	700	700	700	700
実績値	696	428			
達成度	77.3%	61.1%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >										
区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	490		554							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	490		554							
人件費(千円)	1,054	人工	1,048	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1						
嘱託	285	0.1	289	0.1						
合計コスト +	1,544		1,602							
前年度比	-		103.8%							

事務事業評価票

事務事業名	高齢者屋内スポーツ施設(3施設)維持管理事業
< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者スポーツ施設事業費

部局名	健康福祉部	課名	西部福祉課	課CD	05270000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	主な取組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援	
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
			松本版総合戦略	健康・医療産業の創出・育成	

< 事業の狙い >	事業計画年度	~
高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図る。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >	
1 事業の実施内容	島々、番所、奈川:3カ所の屋内ゲートボール場維持管理 奈川:松本市社会福祉協議会に指定管理委託
2 活動指標	各施設利用者数 平成28年度 島々 1,944人 奈川 604人

< 現状に対する認識 >
1 島々屋内ゲートボール場:地域の住民により定期的に利用されている。
2 奈川屋内スポーツ施設:地域の行事に利用されている。
3 番所屋内ゲートボール場:ゲートボール場としての利用が無いため、在り方を検討した結果、多目的に利用できるよう、近隣のいがやレクリエーションランドに位置付けるため、29年度に山岳観光課に移管

< 指標の達成状況 >	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	利用者				
指標の設定理由	施設の維持、拡充の指標として				
目標値	2,252	2,300	2,300	2,300	2,300
実績値	2,335	2,546			
達成度	103.7%	110.7%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度					
事業費(千円)	736	626								
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	736	626								
人件費(千円)	1,054	1,048								
正規	769	759								
嘱託	285	289								
合計コスト +	1,790	1,674								
前年度比	-	93.5%								

事務事業評価票

事務事業名	保健センター管理
< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	保健福祉センター管理費

部局名	健康福祉部	課名	西部福祉課	課CD	05270000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標		1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

< 事業の狙い > 事業計画年度 ~

保健と福祉の一体的な活動拠点として市民に対し各種保健及び福祉サービスを総合的にを行い、地域住民の健康づくりと福祉の推進を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業の実施内容
安曇・波田の保健福祉センター及び奈川の保健センターの維持管理 施設内で実施されている各種事業(指定管理を含む) 福祉ひろば(福祉計画課)(安曇、奈川、波田) デイサービスセンター(高齢福祉課)(安曇、波田) 障害者就労支援センター(障害福祉課)(波田) 西部保健センター(健康づくり課)(波田) 地域活動支援センター児・者(シェイクハンズひかり:民間)(波田)
2 活動指標
各センターの利用者数
平成28年度 安曇 6,585人
奈川 1,740人
波田 51,137人
平成29年度 安曇 7,818人
奈川 1,727人
波田 49,684人

< 現状に対する認識 >

地域住民に利用されている施設
施設が老朽化してきており、安心安全に利用を続けるには、計画的な改修が必要となっている。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	施設の維持、拡充の指標として				
目標値	25,150	55,000	55,000	55,000	55,000
実績値	59,462	59,229			
達成度	236.4%	107.7%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	33,212	38,061			
国・県					
利用者負担金	71	72			
その他	11,428	11,866			
一般財源	21,713	26,123			
人件費(千円)	8,588	8,511			
人工	0.95	0.95			
正規	7,306	7,211			
嘱託	1,283	1,301			
合計コスト +	41,800	46,572			
前年度比	-	111.4%			

保險課

課長 米山 順一

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	保険課	課CD	05300000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	後期高齢者医療事業
-------	-----------

＜予算上の位置付け＞

会計名	後期高齢者医療特別会計
予算中事業名	

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略		①健康・医療産業の創出・育成

＜事業の狙い＞

事業計画年度

20～

75歳以上の後期高齢者等が安心して医療を受けられるよう、後期高齢者医療制度を運営するもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 事業内容

- (1) 障害認定に関する申請の受付
- (2) 資格の取得・喪失に係る届出の受付
- (3) 被保険者証の交付・再交付の申請の受付、引き渡し、返還の受付
- (4) 基準収入額適用に係る申請書の受付
- (5) 一部負担金減免に係る申請書の受付
- (6) 限度額証の交付・再交付・返還の受付
- (7) 療養費、高額療養費、高額介護合算療養費の支給申請書の受付
- (8) 第三者行為による被害の届出の受付
- (9) 葬祭費の支給に係る申請書の提出の受付
- (10) 保険料額決定通知書の引き渡し
- (11) 保険料の徴収
- (12) 保険料の減免・徴収猶予に係る申請の受付

2 活動指標(29年度値、()内は28年度値)

- (1) 被保険者数 34,677人(33,961人)
- (2) 保険料収納額 2,270,744千円(2,182,654千円)
- (3) 保険料収納率(現年度・普通徴収) 98.8%(98.5%)

＜現状に対する認識＞

1 被保険者数
被保険者数は増加し続けています。

2 保険料
被保険者数の増加に伴い、保険料総額も増加している。収納率は特別徴収は100%であり、普通徴収は98%代で推移している。

＜指標の達成状況＞

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	後期高齢者医療保険料収納率(現年度・普通徴収)				
指標の設定理由	事業の安定運営の目安となるため				
目標値	99.6	99.6			
実績値	98.5	98.8			
達成度	98.9%	99.2%			
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	2,768,428		2,876,616							
国・県										
利用者負担金	2,182,654		2,270,744							
繰入金	506,176		521,501							
その他	79,598		84,371							
② 人件費(千円)	25,920	人工	25,660	人工		人工		人工		人工
正規	23,070	3	22,770	3						
嘱託	2,850	1	2,890	1						
合計コスト①+②	2,794,348		2,902,276							
前年度比	—		103.9%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	保険課	課CD	05300000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	国民健康保険事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			○市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略			①健康・医療産業の創出・育成

<予算上の位置付け>

会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

国民健康保険法に基づき、市民が医療を受けられるように、資格管理や給付、保険税の賦課・徴収を行います。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 事業内容
- (1) 資格の取得・喪失
 - (2) 被保険者証、高齢受給者証、限度額適用・標準負担額減額認定証等の交付
 - (3) 保険給付(療養の給付、療養費、出産育児一時金、葬祭費等)
 - (4) 高額療養費の支給及び貸付
 - (5) 高額介護合算療養費の支給
 - (6) 保健事業(データヘルス計画策定、健康フェスティバル等)
 - (7) 医療費適正化対策事業(レセプト点検、医療費通知等)
 - (8) 第三者行為求償、不正不当利得徴収
 - (9) 国民健康保険運営協議会
 - (10) 国民健康保険税の賦課・徴収
- 2 活動指標 ()は前年度(H28)
- (1) 国保加入世帯数 32,135世帯(32,934人)
 - (2) 国保加入者数 51,871人(54,172人)
 - (3) 保険給付費総額 16,461,389千円(16,998,893千円)
 - (4) 国保税収納額 5,475,916千円(5,664,426千円)

<現状に対する認識>

- 1 一人あたり医療費の増加
国保加入者の高齢化や医療の高度化により、一人あたり医療費が増加しています。
- 2 保険税収入の確保
保険税の軽減を受ける世帯が半数以上という現状のため、保険給付費に見合う収入の確保が課題です。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	国民健康保険税現年度収納率				
指標の設定理由	事業の安定運営の目安となるため				
目標値	92.00%	92.75%	93.50%	94.25%	95.00%
実績値	91.69%	92.18%			
達成度	99.7%	99.4%			
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	28,730,186		28,748,691							
国・県	7,269,195		6,932,322							
利用者負担金	5,664,426		5,475,916							
繰入金	2,176,214		2,078,761							
その他	13,620,351		14,261,692							
② 人件費(千円)	322,440	人工	316,590	人工		人工		人工		人工
正規	276,840	36	273,240	36						
嘱託	45,600	16	43,350	15						
合計コスト①+②	29,052,626		29,065,281							
前年度比	—		100.0%							

事務事業評価票

事務事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業
-------	---------------

<予算上の位置付け>

会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業

部局名	健康福祉部	課名	保険課	課CD	05300000
-----	-------	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち		主な取組み	○生活習慣病の予防と重症化予防の支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	①健康・医療産業の創出・育成

<事業の狙い>

事業計画年度	27～
--------	-----

糖尿病は進行すると様々な合併症を引き起こすとともに、患者の生活全般に大きな影響を及ぼすため、重症化を予防し、患者のQOLを維持するもの
また、糖尿病性腎症から透析が必要となった場合、1人年間500万円の医療費がかかると言われおり、国保財政の健全化を保つ面からも、医療費の適正化対策として重要です。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 実施内容
2型糖尿病性腎症で治療中の人工透析導入前の国民健康保険被保険者に対し、重症化予防を目的とした保健事業を実施しています。
患者が通院する医療機関と連携し、薬局薬剤師が指導を行うもので、服薬・栄養・運動指導等の生活習慣や自己管理について6カ月間支援します。

2 状況(実績)
(1) 協力医療機関
平成27年度 6施設、平成28年度 6施設、平成29年度 12施設
(2) 重症化予防プログラム実施者
平成27年度 16人、平成28年度 13人、平成29年度 10人

<現状に対する認識>

・協力医療機関が限定されており、糖尿病性腎症のハイリスク者を抽出してもその全てに事業参加を勧奨できる状況ではない。
・糖尿病や糖尿病性腎症についての認識が低く、事業を勧奨しても、なかなか事業に参加してもらえない。

<指標の達成状況>

		総合評価		B		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	糖尿病性腎症の腎症ステージの維持					
指標の設定理由	重篤化への進行を抑制できている状態が確認できるため					
目標値	13	10	20	20	20	
実績値	13	10				
達成度	100.0%	100.0%				
② 成果指標(指標名)	服薬率の向上					
指標の設定理由	指導の有効性が確認できるため					
目標値	99%	99%				
実績値	97%	99%				
達成度	98.0%	100.0%				

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	3,675		4,051				
国・県	3,675		4,051				
利用者負担金							
その他							
一般財源							
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工		人工	
正規	2,307	0.3	2,277	0.3			
嘱託	0		0				
合計コスト①+②	5,982		6,328				
前年度比	—		105.8%				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	保険課	課CD	05300000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	後発医薬品利用促進事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			○市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略			①健康・医療産業の創出・育成

<予算上の位置付け>

会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	後発医薬品利用推進事業

<事業の狙い>

事業計画年度	25 ~
--------	------

後発医薬品の利用を促進することで、医療費適正化を図り、国保財政の安定化を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 実施内容
 後発医薬品がある先発医薬品の利用者で、その差額が一定額以上ある被保険者へ後発医薬品を利用した場合の自己負担額の差額を通知し、後発医薬品選択の情報提供を行うことで医療費の適正化を図っています。
 また、後発医薬品について周知・啓発する広報等を行うことで、後発医薬品の利用を進めています。

2 状況(実績)
 (1) 利用差額通知数
 平成27年度 2,559件、平成28年度 2,271件、平成29年度 6,780件
 (2) 広報まつもと
 平成27年度 1回、平成28年度 1回、平成29年度 1回

<現状に対する認識>

平成29年度から通知対象とする利用差額を引下げ(300円以上→100円以上)るとともに、対象となる医薬品分類を拡大(11分類→13分類)し、通知対象を拡充し、後発医薬品の更なる利用推進を図りました。

<指標の達成状況>

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	効果額実績				
指標の設定理由	後発医薬品への切り替えによる医療費の削減効果額のため				
目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
実績値	3,220	3,717			
達成度	80.5%	92.9%			
② 成果指標(指標名)	後発医薬品の数量シェア				
指標の設定理由	後発医薬品の数量シェアは国が目標値を定めているため				
目標値	80	80	80	80	80
実績値	63.3	67.6			
達成度	79.1%	84.5%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	247		788				
国・県	247		788				
利用者負担金							
その他							
一般財源							
② 人件費(千円)	85.5	人工	86.7	人工	人工	人工	人工
正規	0		0				
嘱託	85.5	0.03	86.7	0.03			
合計コスト①+②	333		875				
前年度比	—		263.1%				

医務課

課長 石井 敬一

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	いい医療の日事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち	主な取組み			市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
			松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	いい医療の日事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民と医療従事者が信頼関係を築く事業を実施し、医療を取り巻く環境の向上を図るとともに、イベントを開催し、地域医療について考える機会とする。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

11月の第2土曜日を「いい医療の日」として定め、より良い医療環境をめざして事業を実施する。

1 講演会、パネルディスカッションの開催

地域振興財団と共催し、地域包括ケア、地域医療をテーマに講演会とパネルディスカッションを開催(11月18日(土))

(1) 基調講演 講師 小野剛氏(横手市 市立大森病院長)

(2) パネルディスカッション

コーディネーター 松本市長

パネリスト 松本市立病院長、会田病院長、奈川診療所長

安曇地区診療所長、講演会講師

(3) 参加者 120名

2 ありがとうメッセージの募集

当日資料に「ありがとうメッセージ」を掲載

< 現状に対する認識 >

平成28年度までは、市民と医療従事者が「ありがとう」の気持ちを伝えあう意見発表の場としていたが、手法を変え、29年度から講演会、パネルディスカッションを開催し、広く市民や関係者の呼びかけ、地域医療について考える機会とした。

今後も、講演会やパネルディスカッションを開催したいが、より多くの方が出席できるよう周知することが必要である。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	イベント参加者数				
指標の設定理由	参加者人数によりどのくらい周知できているか把握できるため				
目標値	400	200	150	150	150
実績値	370	120			
達成度	92.5%	60.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	447	45			
国・県					
利用者負担金	0	0			
その他					
一般財源	447	45			
人件費(千円)	670	人工	669	人工	人工
正規	385	0.05	380	0.05	
嘱託	285	0.1	289	0.1	
合計コスト +	1,117	714			
前年度比	-	63.9%			

事務事業評価票

事務事業名	小児救急講座事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	緊急救急医療等推進費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

乳幼児、小児等の初期医療の啓発、二次救急病院の負担軽減のため、子育て世帯を対象に医師、薬剤師等により学習会を開催するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 小児科医出前講座
松本市医師会の小児科医が講師を務め、市内の保育園等を会場にこどもの初期医療に関して、周知啓発を図るもの
29年度は保育園等、5会場で実施
- 看護師による出前講座
夜間急病センターの看護師が講師を務め、こどもが急病になったときの対応など具体例に基づき、日常的な乳幼児の初期医療について、周知啓発を図るもの
29年度は、児童館など3会場で開催
- 子育て支援講座
夜間急病センターのスタッフ(小児科医師、薬剤師、看護師)、管理栄養士や救急救命士が講師となり、こどもが急病になったとき、けがをした時などの対応について講座を開催するもの
29年度は4回連続の講座を開催

< 現状に対する認識 >

講座を通じて、子育て世代の子育ての対する不安の解消や小児の初期医療の周知啓発に一役買っていると思う。しかし、講座回数が減ってきているため、講座の開催周知を工夫していく必要がある。

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標		1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	講座開催回数				
指標の設定理由	出前講座等の回数によりどのくらい初期医療の周知できているか把握できるため				
目標値	17	17	17	17	17
実績値	17	12			
達成度	100.0%	70.6%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	151	145			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	151	145			
人件費(千円)	769	759			
正規	769	759			
嘱託	0	0			
合計コスト +	920	904			
前年度比	-	98.3%			

事務事業評価票

事務事業名	初期救急医療事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	緊急救急医療等推進費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

必要な時に必要な医療が安心して受けることができる初期救急医療体制を整備するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

初期救急医療体制を整備するため、平日(夜間)・休日(昼夜間)に在宅当番医師業務を松本市医師会へ委託等するもの
 1年365日、切れ間なく初期救急として在宅当番医体制をとっている。
 平日夜間(290日)、休日昼夜間(75日)、土曜午後(49日)

< 現状に対する認識 >

いつでも、誰もが、必要な時に、安心して医療を受けることができる環境を今後も整備するため、事業の継続は必要である。

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	初期救急件数(年間)				
指標の設定理由	必要な時に医療を受けることができる体制が整えられているかを直接的に把握できる				
目標値					
実績値	18,939	19,380			
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	14,853	14,852			
国・県					
利用者負担金	0	0			
その他					
一般財源	14,853	14,852			
人件費(千円)	769	759			
正規	769	759			
嘱託	0	0			
合計コスト +	15,622	15,611			
前年度比	-	99.9%			

事務事業評価票

事務事業名	災害医療事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	緊急救急医療等推進費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

大規模地震等の災害発生時に、防災・保健・医療・福祉に関する諸団体が効率的に連携を図り、迅速・円滑な医療救護活動を実施するための体制の整備を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

災害時の医療救護活動を円滑の行うため、活動に必要な医薬品等の整備を行うとともに、松本市総合防災訓練の一環として、関係団体が連携し、医療救護訓練を行うもの

- 1 総合防災訓練会場内に臨時医療救護所を設置し、地域住民参加による実践的な訓練を実施
- 2 トリアージを中心とする急性期の訓練に加え、亜急性期を想定した災害弱者対策訓練の実施
- 3 孤立地区の重症者搬送を想定し、ドクターヘリの出動を要請した合同訓練を実施

< 現状に対する認識 >

災害時に医療救護所が迅速に設置され、円滑な運営ができるよう、関係団体が連携し訓練を重ねることは重要なことであるので、事業の継続は必要である。訓練を通じて、検証を重ね、次の訓練に活かしていくことが必要である。

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	訓練回数				
指標の設定理由	毎年継続して訓練を実施することで、医療救護活動の体制を整備、維持でき、訓練回数はその目安となる				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1	1			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	567		127							
国・県										
利用者負担金	0		0							
その他										
一般財源	567		127							
人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工		人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	3,643		3,163							
前年度比	-		86.8%							

事務事業評価票

事務事業名	松本地域出産・子育て安心ネットワーク事業
-------	----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	松本地域出産・子育て安心ネットワーク事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

安心・安全に出産ができる産科医療体制を確保するため、松本保健福祉事務所、松本医療圏構成市村、医療団体及び医療機関が連携して、「松本地域出産・子育て安心ネットワーク協議会」を設立し、分娩従事医師の負担軽減を図る等の事業を実施するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

分娩従事医師の負担軽減と離職防止のため、松本保健医療圏域市村等で協議会を運営しているもの(負担金等)

- 1 分娩医療機関と健診協力医療機関の役割分担と連携体制の構築
- 2 両医療機関で利用する共通診療ノートの作成及び配布
- 3 連携強化病院従事医師への研究奨励金の支給
- 4 地域住民への広報活動(公開講座の開催、広報カードの作成)

< 現状に対する認識 >

医療機関の役割分担の推進により、妊娠初期に分娩医療機関を利用する妊婦は減少し、分娩医療機関の医師等の負担軽減が図られており、今後も安心して出産・子育てができる医療体制を推進するため、事業の継続は必要と考える。

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1 健康ときずなづくり	
	松本版総合戦略	健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	6,041		5,970							
国・県										
利用者負担金	0		0							
その他										
一般財源	6,041		5,970							
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工		人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2						
嘱託	0		0	0						
合計コスト +	7,579		7,488							
前年度比	-		98.8%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	夜間急病センター事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち	市長公約	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実	5つの重点目標		1	健康ときずなづくり
			松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	夜間急病センター事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

初期救急医療体制の整備、二次救急の負担軽減し、本来の二次救急医療に専念できる体制の整備と子育て支援の充実を図るため、小児科・内科夜間急病センターを運営するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

市民が安心して安全に医療を受けることができるよう、平成17年4月1日設置されて以来、松本市医師会をはじめとする関係機関の連携し、運営をしている。

1 診療科 小児科・内科
 2 診療日 年中無休(365日)
 3 診療時間 19:00~23:00
 4 職員体制 医師 2名(小児科・内科)、薬剤師 1名、看護師 2名
 医療事務 2名、事務 1名

<現状に対する認識>

今後も、運営上の課題の検討と、利用者の声を運営に反映させながら、初期救急医療機関として、市民の安心と安全を図っていきたい。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	年間受診者数				
指標の設定理由	夜間に安心して医療を受ける体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	9,390	9,187			
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	106,393	106,685			
国・県	2,407	2,315			
利用者負担金	79,486	79,174			
その他	4,740	3,857			
一般財源	19,760	21,339			
人件費(千円)	4,415	4,373			
正規	3,845	3,795			
嘱託	570	578			
人工	0.5	0.5			
人工	0.2	0.2			
合計コスト +	110,808	111,058			
前年度比	-	100.2%			

事務事業評価票

事務事業名	錦部歯科診療所事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	錦部歯科診療所事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

四賀地区住民等に対し、地域医療(歯科)を提供するため、歯科診療所を運営する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、四賀地区において歯科診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

- 診療科 歯科
- 診療日数 96日
- 診療日 火・金曜日(9:30～17:00)
- 職員体制 医師 1名、歯科助手 2名

< 現状に対する認識 >

施設、医療機器の老朽化や受診者の減少に伴い、診療所の用途廃止について、地元町会へ打診し、了解を得たことから、平成32年3月31日を目途にて診療所を廃止するもの。
また、地区内や隣接する地区に複数民間の歯科医院があるため、現在受診している受診者には、次の主治医につなぐまで丁寧に説明するものとする。

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	重点目標	1	健康ときずなづくり
	松本版総合戦略		健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	年間受診者数				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	779	708			
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	9,537	7,945			
国・県					
利用者負担金	5,368	4,489			
その他					
一般財源	4,169	3,456			
人件費(千円)	670	820			
正規	385	531			
嘱託	285	289			
人工	0.05	0.07			
人工	0.1	0.1			
合計コスト +	10,207	8,765			
前年度比	-	85.9%			

事務事業評価票

事務事業名	大野川診療所事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	大野川診療所事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

安曇大野川地区住民等に対し、地域医療(医科、歯科)を提供するため、診療所を運営する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、安曇地区において診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

- 診療科 内科・歯科
- 診療日数 内科 141日、 歯科 93日
- 診療日 内科 月曜日(13:30~15:30)、水・金曜日(時間 9:00~11:00)
歯科 月・金曜日(9:00~16:30)
- 職員体制 内科 医師 1名、看護師 1名、事務 1名
歯科 医師 1名、歯科衛生士(歯科助手) 1名

< 現状に対する認識 >

施設の移転改築により利用者が増加した。今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていくことが必要である。

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	重点目標	1	健康ときずなづくり
	松本版総合戦略		健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	年間受診者数(内科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	1,558	1,601			
達成度					
成果指標(指標名)	年間受診者数(歯科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	646	1,116			
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	22,450	24,942			
国・県	3,593	3,366			
利用者負担金	16,720	19,160			
その他					
一般財源	2,137	2,416			
人件費(千円)	1,823	1,807			
正規	1,538	1,518			
嘱託	285	289			
合計コスト +	24,273	26,749			
前年度比	-	110.2%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	沢渡診療所事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実		5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
				松本版総合戦略		健康・医療産業の創出・育成

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	沢渡診療所事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

安曇沢渡地区住民等に対し、地域医療(医科)を提供するため、診療所を運営する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、安曇地区において診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

- 1 診療科 内科
- 2 診療日数 46日
- 3 診療日 水曜日(14:00~15:30)
- 4 職員体制 医師 1名、看護師 1名、事務 1名

<現状に対する認識>

今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていくことが必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	年間受診者数				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	290	233			
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	4,415		3,662				
国・県							
利用者負担金	3,299		2,616				
その他							
一般財源	1,116		1,046				
人件費(千円)	527	人工	524	人工		人工	
正規	385	0.05	380	0.05			
嘱託	143	0.05	145	0.05			
合計コスト +	4,942		4,186				
前年度比	-		84.7%				

事務事業評価票

事務事業名	稲核診療所事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	稲核診療所事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

安曇稲核地区住民等に対し、地域医療(医科)を提供するため、診療所を運営する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、安曇地区において診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

1 診療科 内科
 2 診療日数 93日
 3 診療日 月曜日(9:00~11:00)、金曜日(時間 14:00~15:30)
 4 職員体制 医師 1名、看護師 1名、事務 1名

< 現状に対する認識 >

今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていくことが必要である。

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	年間受診者数				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	492	443			
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	7,651		6,714				
国・県							
利用者負担金	5,454		3,859				
その他							
一般財源	2,197		2,855				
人件費(千円)	527	人工	524	人工		人工	人工
正規	385	0.05	380	0.05			
嘱託	143	0.05	145	0.05			
合計コスト +	8,178		7,238				
前年度比	-		88.5%				

事務事業評価票

事務事業名	島々診療所事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	島々診療所事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

安曇島々地区住民等に対し、地域医療(歯科)を提供するため、診療所を運営する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、安曇地区において診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

1 診療科 内科・歯科
 2 診療日数 内科 100日、 歯科 100日
 3 診療日 内科 火曜日(9:00～12:00)、木曜日(時間 9:00～15:30)
 歯科 月・木曜日(9:00～16:00)
 4 職員体制 内科 医師 1名、看護師 1名、事務 2名
 歯科 医師 1名、歯科衛生士(歯科助手) 1名

< 現状に対する認識 >

今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていくことが必要である。

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
			健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	年間受診者数(内科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	1,751	1,854			
達成度					
成果指標(指標名)	年間受診者数(歯科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	324	357			
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	24,353		26,501							
国・県										
利用者負担金	23,319		25,824							
その他										
一般財源	1,034		677							
人件費(千円)	1,339	人工	1,337	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1						
嘱託	570	0.2	578	0.2						
合計コスト +	25,692		27,838							
前年度比	-		108.4%							

事務事業評価票

事務事業名	奈川診療所事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	国民健康保険(直診勘定)
予算中事業名	

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

奈川地区住民等に対し、地域医療(医科)を提供するため、診療所を運営する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、奈川区において診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

- 診療科 内科・歯科
- 診療日数 内科・外科 204日、 歯科 147日
- 診療日 内科・外科 月・火・木4・金曜日(8:30~17:15)
歯科 月・火・木曜日(9:00~16:30)
- 職員体制 内科 医師 1名、市立病院医師 1名(第2水) 看護師 1名、事務 1名
歯科 医師 1名、歯科衛生士(歯科助手) 1名

< 現状に対する認識 >

今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていくことが必要である。

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
			健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	年間受診者数(内科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	3,992	3,924			
達成度					
成果指標(指標名)	年間受診者数(歯科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	619	674			
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	65,675	61,574			
国・県					
利用者負担金	37,322	36,989			
その他	2,681	2,542			
一般財源	25,672	22,043			
人件費(千円)	2,108	2,096			
人工					
正規	1,538	1,518			
嘱託	570	578			
合計コスト +	67,783	63,670			
前年度比	-	93.9%			

健康づくり課

課長 塚田 雅宏

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	保健センター管理
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	保健センター管理

<事業の狙い>	事業計画年度	~
市民の健康相談や各種検診等様々な保健サービスの提供の場、また住民の自主参加による保健活動の場として広く活用し、総合的な健康づくりの拠点となる保健センターを適切に維持管理するもの。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 所管施設・年間利用者数(平成29年度)
(1) 南部保健センター 22,868人
(2) 北部保健センター 11,057人
(3) 中央保健センター 13,099人
(4) 西部保健センター 11,503人
2 その他所管施設
(1) 四賀保健センター(健康づくり課)
(2) 奈川保健センター(西部福祉課)
(3) 梓川保健センター(梓川支所)
(4) 四賀保健福祉センター(四賀支所) ()は維持管理課
3 主な修繕等
(1) 中央保健センター空調機修繕 174,744円
(2) 中央保健センター空調機フィルター交換 99,360円
(3) 四賀保健福祉センターグリストラップ修繕 68,256円
当空調設備は、老朽化により最近6年間(平成24年度~平成29年度)に約140万円の修繕費がかかっており、部品は平成27年度に製造中止のため設備更新が急務である。

<現状に対する認識>

保健センター事業の周知により、利用者の拡大を図るとともに、利用しやすい運営を図る。維持管理の面では、空調設備の更新が急務である保健センターもあり、サービス維持のため優先的に対応が必要と考える。当初設置時と保健センターの利用形態等が変わっているため、保健センターのあり方について検討が必要な施設もある。
--

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	5,672	6,384			
国・県					
利用者負担金	136	614			
その他					
一般財源	5,536	5,770			
人件費(千円)	6,844	人工 10,517	人工	人工	人工
正規	6,844	0.89	10,171	1.34	
嘱託	0	0	347	0.12	
合計コスト +	12,516	16,901			
前年度比	-	135.0%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	「健康寿命延伸都市・松本」推進事業
-------	-------------------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち		主な取組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
			松本版総合戦略		健康・医療産業の創出・育成

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	「健康寿命延伸都市・松本」推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	~
--------	---

「健康寿命延伸都市・松本」の創造を推進するため、この取組みを内外に情報発信するとともに、健康寿命延伸に取り組む他都市や企業等との連携・強化を図る。

- <事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
- 世界健康首都会議の開催
 - 参加者 2日間延べ1,600名
 - 海外基調講演 2講演(オランダ政府・オランダ患者連盟)
 - 各種セミナー等の開催、企業ブース出展
 - 健康寿命延伸都市協議会の運営・拡充
 - 第4回総会・研修会の開催
 - ア 多治見市で10月に開催、松本市が事務局として運営(平成30年度から構成自治体が輪番により1年間、事務局を務める。)
 - イ 18自治体、厚生労働省、スマートライフプロジェクト事務局が参加
 - 協議会への加入要請
 - 「健康寿命をのばそう!アワード」受賞5自治体へ要請、3自治体加入
 - 厚生労働省が進めるスマートライフプロジェクトへの積極的関与
 - サロン(健康施策の取組みに関する意見交換会)への参加 1回
 - 運動・食事・禁煙・健(検)診の категория に沿った啓発(世界禁煙デー等)
 - 企業との連携による情報発信等
 - がん対策推進企業アクション講演会の開催(がん検診啓発)約1,500人
 - ローソン、月刊イクジィとの連携による健康情報の発信

<現状に対する認識>

市の健康寿命延伸の施策について、市民に十分に周知していくとともに、取組みを国内外へ更に広げるため、「健康寿命延伸」のリーディング都市としての矜持をもって引き続き「スマートライフプロジェクト」に積極的に関与し、関連施策を進める。今後も「健康寿命をのばそう!アワード」受賞自治体で構成する健康寿命延伸都市協議会へ積極的に参加し、情報発信・連携を図っていく。

<指標の達成状況>

	総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	健康寿命延伸都市協議会構成団体数				
指標の設定理由	協議会の拡充の成果が確認できるため				
目標値	26	29	32	35	38
実績値	23	24			
達成度	88.5%	82.8%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	5,802	4,325			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,802	4,325			
人件費(千円)	5,998	人工	5,277	人工	人工
正規	5,998	0.78	5,161	0.68	
嘱託	0		116	0.04	
合計コスト +	11,800		9,602		
前年度比	-		81.4%		

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	補助金(健康づくり課)
-------	-------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進		5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
				松本版総合戦略		健康・医療産業の創出・育成

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市の検診を行う医師会医療センターの、老朽化が進んだ医療機器をデジタル対応機器に更新することにより、更なる精度向上やがん検診の受診率向上に活用する。
また、各種がん検診の実施方法や検査結果をまとめることにより、確実に適切な検診体制につなげる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 医療機器等更新事業(交付先:松本市医師会)	10,703,200円
(1) 3年均等分割分(29年度で終了)	9,203,200円
子宮頸がんHPV検査システム	
胸部デジタル撮影車	
解析付き心電計2台	
(2) 便潜血分析装置更新補助	1,500,000円
2 がん検診評価事業補助金	560,000円
過去に市が行った各種がん検診について、年度ごとに検診の実施方法、受診率、要精検率、精検結果等を報告書にまとめ、今後のがん検診に役立てるもの	
大腸がん検診	28年度
前立腺がん検診	28年度
乳がん検診	28年度
胃がんリスク検診	28年度
肺がん・結核検診	26.27年度
肺がんCT検診	26~28年度

< 現状に対する認識 >

導入計画に基づく機器の更新により、早期発見、早期治療の一端を担い、市民の健康寿命延伸を進める。
がん検診評価事業を定期的に行い、今後のがん検診に役立てる。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	15,491	11,263			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	15,491	11,263			
人件費(千円)	385	181			
正規	385	152			
嘱託	0	29			
合計コスト +	15,876	11,444			
前年度比	-	72.1%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	エイズ・性感染症予防事業
-------	--------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進		5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
				松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	エイズ・性感染症予防事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

医療関係者や関係団体からなる「松本市エイズ・HIV等性感染症予防啓発推進協議会」を中心に、性感染症の知識の普及啓発及び予防活動を実施するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- エイズ・HIV等性感染症に関する出前講座
小中学生や地域住民を対象に出前講座を開催(H29 117回 9,194人受講)
- 協議会の専門部会による課題の検討
子ども教育部会における若者の性に関する意識調査の検討(H29 1回)
施設受け入れ部会における高齢者施設職員向け講演会の実施(H29 2回)
- エイズ・HIV等感染症に関する周知
エイズ・HIV等感染症予防啓発街頭キャンペーン
健康フェスティバルにおける啓発活動

< 現状に対する認識 >

子ども教育部会では、アンケート調査等とおして若者の性に関する状況把握を行い、現代の若者の抱える課題に対応できるように出前講座の内容を検討する。
施設受け入れ部会では、高齢者施設職員がエイズ・HIV等の性感染症について引き続き理解を深められるように、講演会を継続的に開催していく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	出前講座受講者数				
指標の設定理由	出前講座による性感染症予防の普及率を把握することができるため				
目標値	9,000	9,050	9,100	9,150	9,200
実績値	8,993	9,194			
達成度	99.9%	101.6%			
成果指標(指標名)	エイズHIV等性感染症予防啓発講演会実施数				
指標の設定理由	協議会の専門部会の実績を把握するため				
目標値	2	3	3	3	3
実績値	2	3			
達成度	100.0%	100.0%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	976		972							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	976		972							
人件費(千円)	3,950	人工	4,995	人工		人工		人工		人工
正規	3,922	0.51	4,099	0.54						
嘱託	29	0.01	896	0.31						
合計コスト +	4,926		5,967							
前年度比	-		121.1%							

事務事業評価票

事務事業名	健康増進対策
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	健康増進対策事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

健康づくり・疾病予防のため、第2期松本市健康づくり計画に基づいて各種検診及び事業を実施するもの
また、市有施設へのAED配備と応急手当講習会による普及啓発により、心臓突然死の減少につなげ、市民が安心して過ごせる環境をつくるもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 健康増進検診の実施(受診者数)	
(1) 健康保険未加入者健診	418人
(2) 肝炎ウイルス検診	2,956人
(3) 骨粗しょう症検診	3,631人
(4) 緑内障検診	285人
(5) 胃がんリスク検診	2,946人
2 検診の周知啓発	
肝炎予防デー、骨粗しょう症デー、緑内障週間の機会を捉え広く周知啓発を行う。	
(1) 広報掲載	
(2) 街角健康相談にて周知	
(3) 地区保健活動にて周知	
3 AED設置事業	
(1) AEDの更新配備	29台(総数159台。本体は8年で更新。)
(2) AEDの消耗品交換	パッドは2年、バッテリーは4年で交換。
(3) 職員向け普通救命講習会の開催	1回・受講者20人
(4) 日常点検用リモート監視メールの再整備	131台

< 現状に対する認識 >

新たに世界肝炎デーや緑内障週間、骨粗しょう症デーなどの機会を捉えて周知啓発に取り組んだ。引き続き、多くの市民が情報を入手して受診の機会が得られるよう啓発に努める。
また、市有施設のAEDを適正に管理するとともに、民間施設も含めたAEDの設置場所の周知や、心配蘇生法を含めた救命講習の普及啓発を進める。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	5350000
-----	-------	----	--------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
			健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	胃がんリスク検診精密検査受診率				
指標の設定理由	胃がん発症リスクの低減を図るための指標であるため				
目標値		82%	84%	86%	88%
実績値	71.80%	62.4%			
達成度	-				
成果指標(指標名)	普通救命講習会受講者数(人)				
指標の設定理由	講習会の受講促進の取組みが確認できるため				
目標値		5,800	5,850	5,900	5,950
実績値	5,778	8,222			
達成度	-	141.8%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	44,375	47,107			
国・県	22,561	19,274			
利用者負担金					
その他					
一般財源	21,814	27,833			
人件費(千円)	27,919	15,118			
人工	3.36	1.87			
正規	25,838	14,193			
嘱託	2,081	925			
0.73	0.32				
合計コスト +	72,294	62,225			
前年度比	-	86.1%			

事務事業評価票

事務事業名	健康増進対策
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	健康増進対策事業

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

生涯にわたる口腔ケアの意識づけや歯周疾患の予防をはかるため、第2期松本市健康づくり計画に基づいて、歯科検診および健康教育事業を実施するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 健康増進事業(受診者数)

(1) 歯周疾患検診(30・40・50・60・70歳) 1,000人

(2) 妊婦歯科検診 645人

(3) はたちのパノラマ健診(20歳) 200人

2 歯科健康教育

歯科衛生士が、歯科疾患の予防、口腔機能の維持・向上に関する適切な情報を提供する。

1,270人 実施

< 現状に対する認識 >

歯科検診事業において、30・40・50歳へ年度途中での検診未受診者への再勧奨の実施を行うことで、さらなる受診率の向上に努める。

歯科健康教育の際にも、歯科検診の重要性を伝えていく。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
			松本版総合戦略		健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

	総合評価		B		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	歯周疾患検診受診率(%)				
指標の設定理由	市から働きかけた検診の受診状況が把握できるため				
目標値	6.0	10.0	11.0	12.0	13.0
実績値	6.6	6.4			
達成度	110.0%	64.0%	0.0%	0.0%	0.0%
成果指標(指標名)	歯科健康教育受講者数(人)				
指標の設定理由	歯科疾患予防等を働きかけた人数が把握できるため				
目標値	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
実績値	1,134	1,270			
達成度	103.1%	115.5%	0.0%	0.0%	0.0%

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	8,428	6,690	0	0	0
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	8,428	6,690			
人件費(千円)	7,198	人工	5,815	人工	人工
正規	5,460	0.71	4,023	0.53	
嘱託	1,739	0.61	1,792	0.62	
合計コスト +	15,626	12,505			
前年度比	-	80.0%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	グッドヘルス推進事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	主な取組み		生活習慣病の予防と重症化予防の支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
			松本版総合戦略		健康・医療産業の創出・育成

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	グッドヘルス推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

生活習慣病予防のポピュレーションアプローチとして、働き盛り世代(概ね20歳から59歳まで)へ基礎知識の普及を行うことにより、対象者が行動変容をおこし、将来的に、医療費削減、健康寿命延伸につながることを目的とする。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 働く世代生活習慣病予防事業
 - 企業からの申込を受け、生活習慣病予防の観点からメタボリックシンドローム、食行動、運動、こころの健康、たばこ、歯の健康などについての出前講座を実施する。
 - 商工会議所「ヘルスの日」の待ち時間に前講座を実施する。
- 健康相談事業、訪問指導
 - 希望者を対象として、各保健センター、支所・出張所等で、保健師や歯科衛生士等が面接及び電話による相談を行う。
 - 検診の要指導者や妊産婦・乳児で支援が必要な者、その他在宅療養者で相談及び支援が必要と認められる者を保健師、看護師等が訪問し、生活習慣病の重点対策疾患の予防、介護予防及び保健・医療・福祉サービスの調整を図る。
- 職員研修

職員の専門性を高めるため各種研修会に参加
- 「健康福祉21市民会議」健康・母子専門員会
健康づくり計画の策定、施策の検討及び助言

<現状に対する認識>

本事業の利用企業の内、国保対象者は17%であった。昨年よりも国保対象者割合は3%増した。中小零細企業を中心として事業周知の場の拡大や方法を検討・開拓していく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	商工会議所健康診断・職場で健康講座 実施回数				
指標の設定理由	働き盛り世代への基礎知識普及の頻度				
目標値	90	90	90	90	90
実績値	69	66			
達成度	76.7%	73.3%			
成果指標(指標名)	商工会議所健康診断・職場で健康講座 講座受講人数				
指標の設定理由	健康講座への参加人数を基礎知識普及の人数とする。				
目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
実績値	1,813	1,615			
達成度	90.7%	80.8%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	5,332		3,807							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,332		3,807							
人件費(千円)	59,244	人工	63,002	人工		人工		人工		人工
正規	42,372	5.51	44,477	5.86						
嘱託	16,872	5.92	18,525	6.41						
合計コスト +	64,576		66,809							
前年度比	-		103.5%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	環境保健サーベイランス事業
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境保健サーベイランス事業

<事業の狙い>

事業計画年度

~

地域集団の健康状態と環境汚染に関する観察を行い、必要な措置を講ずるもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 国からの委託事業
- 2 地域集団の健康状態と環境汚染に関する観察を実施し、国へ報告する。
(3歳児 2,036人 6歳児 1,974人)

<現状に対する認識>

環境省からの委託調査事業である。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	2,948		1,695							
国・県	2,948		1,695							
利用者負担金										
その他										
一般財源										
人件費(千円)	2,230	人工	3,256	人工		人工		人工		人工
正規	2,230	0.29	3,112	0.41						
嘱託	0		145	0.05						
合計コスト +	5,178		4,951							
前年度比	-		95.6%							

事務事業評価票

事務事業名	健康づくり体制推進事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	健康づくり体制推進事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市内全地区に健康づくり推進員を配置し、関係機関との連携及び保健福祉事業が地域全般にいきわたるよう学習し実践すること。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 健康づくり推進員の活動 (862名)
 - 自らの健康のために進んで研修会等に参加し、実践(予防)する。
連合会総会1回 役員会6回 理事会9回 研修会2回 理事視察研修健康づくり教室5回 他)
 - 地域保健福祉活動の向上と健康づくりの推進のために、地域ごとの研修会や健康に関する教室を開催する。
 - 市の保健福祉行政がスムーズに地域全般にゆきわたるため努力する。
 - 地区の健康を守る担い手として、地域住民からの健康づくりに関する意見を行政に反映するとともに、支援を必要とする方を地区担当保健師や行政に連絡する。
- 各地区事業
地区担当保健師が各地区の事務局として、推進員と共に地区の健康課題等に取り組んでいる。
(地区総会、定例会、学習会、福祉事業等への参加協力、各種検診勧奨他)
- 地区活動への後方支援
地区での活動を効率よく効果的に進めるため、推進員育成マニュアルや活動事例集の作成、他地区の好事例紹介等を通じ、地区活動の後方支援を行う。

< 現状に対する認識 >

地区組織や行政と連携して、保健福祉活動の啓発及び健康づくりの役割を果たしている。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
			健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	健康づくり推進員経験者数				
指標の設定理由	経験者を増やすことで、地域での健康づくり活動普及につながるため				
目標値	17,000	17,800	17,800	18,600	18,600
実績値	16,734	17,626			
達成度	98.4%	99.0%			
成果指標(指標名)	任期2間を通じた意識・行動変容の有無				
指標の設定理由	健康意識の高い市民の増加につながるため				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	94.5	93.0			
達成度	94.5%	93.0%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	13,312	13,300			
国・県	610	610			
利用者負担金					
その他					
一般財源	12,702	12,690			
人件費(千円)	29,670	30,976			
正規	24,454	26,034			
嘱託	5,216	4,942			
合計コスト +	42,982	44,276			
前年度比	-	103.0%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	まちかど健康相談事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標		1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	まちかど健康相談事業

<事業の狙い> 事業計画年度 28年度～32年度

市民が自分自身の健康に関心を持ち、若い頃からの健康づくりに取り組むきっかけづくり及び健(検)診の受診率向上につなげることを目的に、市民が多く参加するイベントなどで、生活習慣病及び認知症・ロコモティブシンドローム予防等の予防啓発や相談を気軽にできる機会を設ける。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 市民が多く集まるイベントなどで、健康について意識してもらうきっかけとなるよう、短時間でできる体験型の健康チェック、健康相談等を行う。

(1)健康チェック及び健康相談
 (2)健(検)診のPR及び申込受付
 (3)健康に関する情報配信・常設の健康相談等の紹介等

<現状に対する認識>

1 平成29年度より、乳がん・子宮がん検診料金が見直され、受診しやすい料金になったため、若い子育て世代に向けて、周知・啓発に力を入れる。

2 市民にPRできる場を設定するために、より市民が参加する実施会場の絞り込みを実施し、6会場とする。

<指標の達成状況> 総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	実施回数				
指標の設定理由	PRできた実施回数(会場)				
目標値	11	9	9	9	9
実績値	11	9			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)	来場者数(延)				
指標の設定理由	健康に関する情報提供等働きかけた(PRできた)人数				
目標値	1,100	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	1,144	1,142			
達成度	104.0%	114.2%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	128		170							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	128		170							
人件費(千円)	4,438	人工	3,860	人工		人工		人工		人工
正規	4,153	0.54	3,340	0.44						
嘱託	285	0.1	520	0.18						
合計コスト +	4,566		4,030							
前年度比	-		88.3%							

事務事業評価票

事務事業名	がん検診推進事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	がん検診推進事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28 ~

松本市の死亡原因の1位であるがんによる死亡を減少させるため、各がん検診の受診率の向上に取組み、がんの早期発見・早期治療につなげるもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 各がん検診受診者数(受診率)	(1)胃がん検診 3,198人(3.7%)	(4)子宮頸がん検診 9,108人(18.3%)
	(2)大腸がん検診 18,291人(20.9%)	(5)乳がん検診 10,287人(22.1%)
	(3)肺がん検診 15,890人(20.2%)	(6)前立腺がん検診 6,569人(21.3%)
2 無料クーポン事業	定期受診促進のため、各がんの発症が多くなる年齢または検診受診きっかけ年齢の者に対して無料検診を実施(子宮頸がん:21歳、乳がん:41歳、大腸:40歳、肺CT:50歳、60歳の者に対して実施)	
3 個別の受診再勧奨	個別に再勧奨をすることで、検診受診を促進する	
4 受診しやすい環境整備	女性のがん検診料金引き下げ、ファミリーサポートセンターでの託児実施	
5 精密検査未受診者に対する受診再勧奨	要精密検査者に対して、確実に精密検査を受診するよう勧奨する。	

< 現状に対する認識 >

平成29年度は出産子育て世代を含む女性のがん検診受診を促進するため、受診料を引き下げ積極的なPRを実施し、目標受診率も引き上げて取り組んだ。今後も、個別受診勧奨、無料クーポン事業及び受診再勧奨を行うとともに効果的な周知・啓発を行い受診率向上を図る。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	
-----	-------	----	--------	-----	--

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	がん検診受診者数				
指標の設定理由	市の実施するがん検診全体の進捗状況を確認できるため				
目標値	65,304	71,827	74,889	77,294	79,755
実績値	62,696	63,343			
達成度	96.0%	88.2%			
成果指標(指標名)	がん検診受診率(乳がん検診)				
指標の設定理由	乳がん検診の受診率を確認できるため				
目標値	16.80%	22.00%			
実績値	20.20%	22.05%			
達成度	120.2%	100.2%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	248,307	261,481			
国・県	1,144	511			
利用者負担金	6,926	5,834			
その他					
一般財源	240,237	255,136			
人件費(千円)	32472	人工	31,601	人工	人工
正規	27684	3.6	26,717	3.52	
嘱託	4788	1.68	4,884	1.69	
合計コスト +	280,779	293,082			
前年度比	-	104.4%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	受動喫煙防止「松本スタイル」推進事業
-------	--------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進		5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
				松本版総合戦略		健康・医療産業の創出・育成

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	受動喫煙防止「松本スタイル」推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

喫煙及び受動喫煙による健康被害の防止のため、基本方針「タバコと向き合う松本スタイル～あたり前の禁煙へ～」に基づき、禁煙及び受動喫煙防止に係る周知・啓発、教育、健康相談・保健指導等に取り組むもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 周知・啓発の推進
 - 推進母体「受動喫煙防止対策推進協議会」の運営(会議2回)
 - 啓発キャンペーン等の実施(街頭啓発2回・約3,000人)
 - 禁煙エリア「さわやか空気思いやりエリア」の設定・検証
街頭啓発2回、駅周辺路上灰皿への啓発ステッカー貼付10カ所
 - 観光客への周知・啓発(駅前での街頭啓発2回)
- 家庭や職場等での受動喫煙の防止
 - 乳幼児や妊婦・家族への対策の徹底
妊娠届出時の啓発2,061人、園児等の喫煙防止教育の実施49園、子育て出前講座61回・受講者1,279人、35地区での啓発活動(健康教育2031人・健康相談211人)(2月末現在)
 - 職場での受動喫煙防止の徹底
飲食店等企業への啓発 約800人、国への対策強化署名1,714名提出
 - 禁煙等表示ステッカーの利用促進(ステッカー配布6事業所)
- 青少年へのたばこの害に関する教育の強化
 - 小中学生(喫煙防止講義29校、ポスター作品募集64名・作品展28日間)
 - 高校生(喫煙防止講義66人)、大学生等(世界健康首都会議セミナー32人)
- 禁煙へ導く各種体制の充実
 - 禁煙相談の実施等(4保健センターでの相談、肺がん検診時の指導等)
 - 禁煙へ導く具体的な事例紹介等(禁煙成功例・禁煙外来一覧の配布等)
- その他
路上灰皿の撤去1カ所(安原地区バス停)

< 現状に対する認識 >

受動喫煙の機会が多い家庭と企業への対策のため、幼児期からの喫煙防止教育や子育て世代の家庭への啓発、飲食店等企業への出前講座等による啓発を行うとともに、禁煙相談や禁煙外来の受診勧奨等、喫煙者を禁煙へ導く取り組みを進めていく。

- ・受動喫煙の場 家庭16.3% 飲食店等企業68.8% (H27松本市)
- ・育児期間中の両親喫煙率 父34.6% 母4.2% (H27松本市)

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	育児期間中(3歳以下)の両親喫煙率(父親)				
指標の設定理由	家庭への喫煙防止教育の効果が測定できるため。				
目標値	32.0%	31.5%	31.0%	30.5%	30.0%
実績値	32.0%	32.7%			
達成度	100.0%	96.3%			
成果指標(指標名)	禁煙等表示ステッカーの配布施設数				
指標の設定理由	事業所への受動喫煙対策の効果が測定できるため。				
目標値	90	100	110	120	130
実績値	102	108			
達成度	113.3%	108.0%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	607	844			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	607	844			
人件費(千円)	5,901	人工	9,339	人工	人工
正規	5,844	0.76	7,894	1.04	
嘱託	57	0.02	1,445	0.5	
合計コスト +	6,508	10,183			
前年度比	-	156.5%			

事務事業評価票

事務事業名	身体活動維持向上事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	身体活動維持向上事業

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

ロコモティブシンドロームの予防啓発を広く行い、地域で自主的かつ継続的に運動に取り組める仕組みを作るために実施するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 体力づくりサポーター育成講座の実施
35地区の活動につながるよう、全地区で育成講座の実施
2講座実施(南部・北部保健センター)
新規登録者数 63名
全登録者数 485名(H30.2.7 現在)
- 2 体力づくりサポーター地区活動支援
(1) 各地区での地区集会の実施(H29 175回)
(2) 全体研修会の実施(H29 2回)
(3) ふれあい健康教室での運動伝達(四肢筋健診)(H29 33回)
- 3 体力健診の実施
40歳以上市民に対し、身近な場所で体力測定を実施し、運動を行うきっかけづくりを行う。(H29 62回実施 参加延数1,103人 内64歳未満 267人 24%)

62回のうち、検診と同時開催 5回
マンモグラフィー検診2回・超音波検診1回・骨粗しょう症検診2回
参加者数 88人

< 現状に対する認識 >

35地区各地の体力づくりサポーターが地区活動が円滑に行われ、自主的で継続した取り組みとなるよう、リーダーサポーターを育成をH30から計画実施。体力健診の対象者をできるだけ若い層となるよう、各種健診・検診と同時開催するなど、方法を工夫していく。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	体力づくりサポーター登録者数				
指標の設定理由	自主的かつ継続的に運動に取り組むための仕組みができてきているかの指標				
目標値	454	525	525	525	525
実績値	421	485			
達成度	92.7%	92.4%			
成果指標(指標名)	体力健診実施回数				
指標の設定理由	ロコモティブシンドロームの啓発状況を把握				
目標値	90	60	96		
実績値	90	59			
達成度	100.0%	98.3%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	2,586	1,587			
国・県					
利用者負担金					
その他	653	510			
一般財源	1,933	1,077			
人件費(千円)	24,011	17,503			
正規	23,070	3	16,319	2.15	
嘱託	941	0.33	1,185	0.41	
合計コスト +	26,597	19,090			
前年度比	-	71.8%			

事務事業評価票

事務事業名	こどもの生活習慣改善事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	こどもの生活習慣改善事業

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		生活習慣病の予防と重症化予防の支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
			健康・医療産業の創出・育成

< 事業の狙い >

事業計画年度	28年度～32年度
--------	-----------

こどもの時期から、望ましい運動習慣及び食習慣の重要性を意識づけることにより、将来の生活習慣病を予防するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 学校出前講座(「生活習慣」・「運動」・「栄養」等の保健指導プログラムの実施
対象 主に小学校4年生・中学2年生・保護者
(平成29年 小学校82回 5432人 中学校34回 1783人)
- 親子運動あそびプログラムの実施
親子で、運動遊び等を通じ、からだを動かす楽しさを体験し、運動習慣の定着を図る。
(平成29年 会場 松本大学 参加数延べ 子ども152人 保護者123人)
- 啓発・情報提供事業
保育園(年中児・年長児)・小4児童・中2生徒及びその保護者に、意識啓発・情報提供を目的として年3回健康情報通信配布

< 現状に対する認識 >

幼児期からの、運動あそび・食育の推進等の家族ぐるみでの取り組みが、家族全体の生活習慣改善・さらに長い目で見ての、健康寿命延伸につながるという視点から、より早い時期からの啓発・意識づけが大切である。保育園、学校及び地域で連携した取り組みが必要であるため、関係機関とより連携し、事業内容や実施方法を検討する必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	学校出前講座 受講者数				
指標の設定理由	過去5年間の出前講座受講者数の平均				
目標値		7,600	7,600	7,600	7,600
実績値	8,166	7,215			
達成度	-	94.9%			
成果指標(指標名)	朝食をとる割合				
指標の設定理由	望ましい食生活習慣の定着を測る				
目標値		95%	96%	97%	100%に近づける
実績値	94.20%	95.40%			
達成度	-	99.6%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	774		837							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	774		837							
人件費(千円)	15,817	人工	10,929	人工		人工		人工		人工
正規	14,534	1.89	9,108	1.2						
嘱託	1,283	0.45	1,821	0.63						
合計コスト +	16,591		11,766							
前年度比	-		70.9%							

事務事業評価票

事務事業名	食育推進事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	食育推進事業費

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち		主な取組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
				松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度	平成28年度～平成32年度
--------	---------------

生活習慣病を予防し、健康寿命の延伸につなげるため、市民一人ひとりがそれぞれに合った食育を楽しく実践できるよう、第2期松本市食育推進計画に基づき事業を実施するもの。なお、第2期計画が、29年度で最終年度となるため、事業評価を実施し、第3期松本市食育推進計画を今年度策定。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 食生活改善推進員養成事業
地域で食生活改善に関するボランティア活動をする人を増やすため、市内2会場において食生活改善推進員養成教室を実施
・修了者数 16地区32名 ・新規加入者23名(加入率71.8%)
- 食生活改善推進員と共催の食生活改善栄養指導事業
望ましい食生活を実践する人を増やすため、食生活改善推進員と協働で、健康づくり推進員や市民を対象に、栄養講話、調理実習を実施する。
・食生活改善栄養指導教室 34回793人
・地区別料理講習会 48回1,037人
- 出前講座
より多くの市民が望ましい食習慣を営めるよう、地域や企業等の要望にあわせ、参加者の実践につながる内容の講話や調理実習を行う。
・市内100地区で実施
- 周知啓発活動
・広報まつもと 食育月間にあわせ6月号に掲載(特集号)
・図書館における情報提供 市内全11館において3回
・パネル展 八十二銀行ギャラリー(2週間) イオン南松本店(1週間)
・イベント 2回 イオン南松本店約320人 学都松本フォーラム約200人
・食育講演会 フレイル予防について 参加数192人
(体力づくりサポーター全体研修会と合同開催)

第2期計画の重点施策として、バランスのとれた食事の整え方

第2期計画の重点施策として、バランスのとれた食事の整え方やよくかんで食べるための方法について推進してきたが、食育に関するアンケート調査結果などから、バランスのとれた食事をする人やよくかんで食べる人の割合が国と比べて低かった。そのため、来年度から推進する第3期計画においても、地域において関係団体と連携し、2期計画の重点施策を継続しながら、市民の方が実践しやすい、より具体的な方法を示して食育を推進していく。

< 指標の達成状況 >

総合評価	B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	食生活改善推進協議会の新規入会者数				
指標の設定理由	地域での食育推進のため、地域資源となる会員の増加を測る。				
目標値	25	30	30	30	30
実績値	21	23			
達成度	84.0%	76.7%			
成果指標(指標名)	食生活改善栄養指導教室の参加者満足度(生活の参考になった率)				
指標の設定理由	健康増進に関わる人や市民の食生活改善に対する意識の変化を測る。				
目標値	95.00%	95%	100%	100%	100%
実績値	96.90%	97.50%			
達成度	102.0%	102.6%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	1,480	3,534			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,480				
人件費(千円)	16,713	人工	24,567	人工	
正規	12,381	1.61	19,279	2.54	
嘱託	4,332	1.52	5,289	1.83	
合計コスト +	18,193		28,101		
前年度比	-		154.5%		

事務事業評価票

事務事業名	自殺予防対策事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	自殺予防対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H29 ~ H35

自殺予防に関して、市民の啓発、相談体制の強化、身近な地域での見守り体制の構築等、総合的な対策を推進する

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 普及・啓発・教育の推進
 広報の掲載(9月)
 自殺予防街頭キャンペーン(3月)
 青少年への教育・啓発
 ・市内中学2年生へのパンフレットの配布
 ・市内中学3年生と高校3年生に配布する新生活応援レシピ集にコラム掲載
- 相談・支援体制の充実
 自殺予防専用相談「いのちのきずな松本」の開設
 平成29年度実人数75件
- 気づき・見守る地域づくり
 地域支援者養成講座:民生児童委員、健康づくり推進員等へ情報提供
 平成29年度 2352人
- 関係団体との連携
 自殺予防対策推進協議会の開催
- 第2期自殺予防対策推進計画の策定

< 現状に対する認識 >

平成29年度策定の第2期自殺予防対策推進計画に基づき事業を展開するとともに、より一層若年者及び働き盛り世代への対応の強化を進める。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
			松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	地域支援者の養成				
指標の設定理由	身近な地域で支える人の増加を図るため				
目標値	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400
実績値	2,043	2,352			
達成度	102.2%	112.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	8,831	10,200			
国・県	4,501	5,382			
利用者負担金	0	0			
その他	0	0			
一般財源	4,330	4,818			
人件費(千円)	19,952	25,072			
正規	19,610	24,668			
嘱託	342	405			
合計コスト +	28,783	35,272			
前年度比	-	122.5%			

事務事業評価票

事務事業名	認知症予防対策事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	認知症予防対策事業

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		生活習慣病の予防と重症化予防の支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
			健康・医療産業の創出・育成

< 事業の狙い >

事業計画年度	28年度～32年度
--------	-----------

若いときからの生活習慣が、将来の認知症予防につながることを幅広く啓発する。
市民および市内在勤者が、生活習慣病と認知症の関係に気づき、予防のための行動を継続して行うことができるきっかけとする。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 生活習慣病と認知症の関係の啓発を行う。
(1)パンフレットを用いた啓発(地区事業、課事業、庁内事業等での対面での周知)
(2)連携企業従業員への周知・啓発
(3)連携企業事業参加者、施設利用者への配布
(4)ホームページ、イクジへの掲載
- より若い世代、子育て世代、働き盛り世代にターゲットをあて、在勤者も含め、健康無関心層への周知啓発のため、協賛企業等からの景品提供等により抽選でインセンティブを付与する。
(平成29年度 参加者のうち20～50代の割合 38.6%)
- 生活習慣病と認知症の関係を知り、学ぶことで、自身の健康目標を立て実践する。
平成29年度より、チャレンジ目標を立て、行動目標を30日間実践することをポイント化し、「認知症予防チャレンジプログラム」に応募できる形式とした。
(平成29年度 応募者数 延べ数 1,356人 実数 840人)
- 30日間のチャレンジに取り組んだ方のうち、若い世代の応募は50.9%

< 現状に対する認識 >

- 生活習慣病と認知症との関連を知る市民が増えるという底辺の拡大は継続。
- 認知症予防・生活習慣病のための目標を自身で設定し、30日間継続して応募するというステップにより、努力をした方にインセンティブの付与とした。チャレンジに取り組んだ若い世代の割合が高く、効果的な啓発となっている。
- 引き続き、働き盛り世代、子育て世代への周知・啓発に力を入れる。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	参加者のうち、若い世代(20～50代)の割合				
指標の設定理由	若い世代の参加率をはかるため				
目標値	35%	40%	42%	44%	46%
実績値	39.8%	38.60%			
達成度	113.7%	96.5%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	1,047	1,280			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,047	1,280			
人件費(千円)	5,449	7,658			
正規	5,306	6,907			
嘱託	143	751			
合計コスト +	6,496	8,938			
前年度比	-	137.6%			

事務事業評価票

事務事業名	母子健康対策
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	母子健康対策費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

安心して妊娠・出産でき、子育てに喜びを感じ、心にゆとりを持って子育てができる環境づくりをめざすもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 母子健康手帳の交付
妊娠・出産・育児に関する母子の健康状態を記録するものとして、妊娠届の際に交付。
併せて、保健師が全数面接を行い相談・支援を実施。
(母子手帳交付者数 1,889 人)
- 新生児・乳幼児訪問
児の心身の健全な発育と保護者の育児支援を行うため、訪問により身体測定、発達観察、育児・健康相談を実施。
(訪問数 1,179件)
- 母子関係機関との連携
切れ目なく健全な子育てを支援するため、関係機関との情報共有、ケース検討等実施。(連携数 1,208件)

< 現状に対する認識 >

少子化・核家族化・疾病を抱える保護者の増加等により、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図ります。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取組み	松本地域で協力した出産体制を維持
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

	総合評価	B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	子育てに負担を感じた時に対処法がある母親の割合(%) 3歳児健診時調査					
指標の設定理由	子育てに負担を感じる母親へのサポート状況を把握できる					
目標値	100	100	100	100	100	
実績値	76.9	74				
達成度	130.0%	135.1%				
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	4,876	4,272			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,876	4,272			
人件費(千円)	32,036	33,436			
正規	26,992	25,806			
嘱託	5,045	7,630			
人工	3.51	3.4			
	1.77	2.64			
合計コスト +	36,912	37,708			
前年度比	-	102.2%			

事務事業評価票

事務事業名	母子健康対策
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	母子健康対策費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～
安心して妊娠・出産でき、子育てに喜びを感じ、心にゆとりを持って子育てができる環境づくりをめざすもの。(疾病・障害等の早期発見や成長・発達の確認、育児相談を通じ、母子に寄り添った育児支援を行うもの。さらに、幼児期のむし歯予防を通じ、生涯にわたる健康増進と歯周疾患予防を図るもの。)

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 乳児健診(4か月、10か月) 問診、身体測定、発達観察、医師診察、育児相談を実施するもの 4か月:76回 1,802人(98.1%) 10か月:76回 1,997人(97.4%)
2 幼児健診(1歳6か月、3歳) 問診、身体測定、発達観察、医師診察、歯科診察、育児相談(3歳のみ尿検査、視聴覚検査、絵本読み聞かせ)を実施するもの。 1歳6か月:76回 1,987人(96.6%) 3歳:76回 1,982人(97.4%)
3 二次乳幼児健診 発達における要経過観察児のフォローと育児支援、安心して子育てができる為の援助 小児神経科医師による個別相談 34回 受診者延数159人 心理相談 52回 受診者延数87人 言語発達相談 30回 受診者延数120人 発達相談 44回 受診者延数162人
4 精神科医師による個別相談 適切な精神科医医療やサポートが受けられるよう、精神科医師による相談及び治療の見極め等を行い、こころの健康が保たれるように支援するもの。 12回 受診者延数33人
5 幼児歯科管理登録事業 歯科医師会に事業委託し、希望者の口腔内状況を管理し、児の健康増進とむし歯予防をおこなうもの。 525名登録 登録率25.5%
6 私立保育園歯科集団指導 私立保育園における健康増進とむし歯予防を行うもの。12園実施

少子化・核家族化・疾病を抱える保護者の増加等により、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、その子とその親に寄り添った育児支援が行えるよう相談・支援体制の強化を図ります。
また、幼児期のむし歯予防を通じ、生涯にわたる健康増進と歯周疾患予防を行います。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			松本地域で協力した出産体制を維持
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	乳幼児健診の受診率(4ヶ月、10か月、1歳6か月、3歳の平均)(%)				
指標の設定理由	安心して育児ができるために、健診の場で支援を受けられている状況				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	97	97.4			
達成度	97.0%	97.4%			
成果指標(指標名)	3歳児歯科健診時のう歯保有児数				
指標の設定理由	幼児期にむし歯のある児の状況が把握できる				
目標値	10	10	10	10	10
実績値	9.3	9.4			
達成度	107.5%	106.4%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	33,621	32,985			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	33,621	32,985			
人件費(千円)	55,036	60,215			
正規	44,833	46,603			
嘱託	10,203	13,612			
合計コスト +	88,657	93,200			
前年度比	-	105.1%			

事務事業評価票

事務事業名	母子健康対策
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	母子健康対策費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

妊娠期から育児に関する不安の解消のための適切な情報提供や、母子の愛着形成を促すことにより、健やかな子育てを支援する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 両親学級 妊娠期から母性、父性をはぐみ子育ての孤立化を予防する 平日コース 4回コース×6回 (産後教室 6回含む) 休日コース 2回コース×12回 計 延べ48回 参加者延べ数1,416人
2 離乳食教室(初期 中期) 離乳食の適切な情報提供と育児支援 初期(5~7カ月)10回×4保健センター 40回 参加者実数677人 中期(7~8カ月) 32回 参加者数557人
3 1歳児教室 一歳児における生活習慣の基礎づくり 31回 参加者数502人
4 子育て出前講座 乳幼児期の成長発達における適切な情報提供と育児支援 64回 参加者数1,300人
5 多胎児教室 多胎児を育てている妊婦や保護者の子育て不安の解消と多胎児親子の交流 年7回 参加延べ数179人
6 母子支援教室 タッチケアを通じ早期からの母子愛着形成を促し虐待を予防する 23回×4保健センター 92回 参加者延数 619人

< 現状に対する認識 >

少子化・核家族化・疾病を抱える保護者の増加等により、育児に不安を持つ親が増えていることから、妊娠期から産後も安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図ります。
妊娠期から子育て期までの情報提供、親子の交流の場を提供し子育て支援を行ないます。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			松本地域で協力した出産体制を維持
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	育児不安解消率(両親学級)(%)				
指標の設定理由	妊娠期の育児不安解消は、母子の愛着形成をより促す				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	99.3	99.5			
達成度	99.3%	99.5%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	5,551	3,133			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,551	3,133			
人件費(千円)	25,269	26,815			
正規	20,994	21,556			
嘱託	4,275	5,260			
合計コスト +	30,820	29,948			
前年度比	-	97.2%			

事務事業評価票

事務事業名	少子化対策事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	少子化対策事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

妊娠の希望をかなえ、安心して妊娠・出産でき、子育てに喜びを感じ、心にゆとりを持って子育てができる環境づくりをめざすもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 育児ママヘルプサービス
育児不安等、育児困難者支援のため、助産師が訪問し、育児支援や相談を実施するもの。(利用者数 23人)
- 産後ケア事業
育児不安等、育児困難者のため、入院やデイケアにより産後の健康管理と育児指導、乳房管理等を実施するもの。(利用者数 デイケア 1人 宿泊 43人)
- 母子保健コーディネーター配置事業
子育てを包括的に支援するため、子ども子育て安心ルームを設置。母子保健コーディネーターを配置し、子育てコンシェルジュを始め庁内・外の関係機関と連携することにより、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制を構築するもの。
(健康づくり課に専任で1名配置)
- 不妊・不育症治療費助成事業
不妊・不育症治療を行っている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療費の一部(補助率3分の2、上限30万円)を助成金として交付するもの
(不妊症289人 36,443千円 不育症4人 252千円)

< 現状に対する認識 >

少子化が進む中で、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図ります。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
	主な取組み	松本地域で協力した出産体制を維持	
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり	
	松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	子育てに負担を感じた時に対処法のある母親の割合(%) 3歳児健診時調査				
指標の設定理由	子育てに負担を感じる母親へのサポート状況を把握できる				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	76.9	74			
達成度	76.9%	74.0%			
成果指標(指標名)	合計特殊出生率				
指標の設定理由					
目標値	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56
実績値	1.5	1.5			
達成度	96.2%	96.2%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	42,529	40,950			
国・県	3,090	3,348			
利用者負担金	80	151			
その他					
一般財源	39,359	37,451			
人件費(千円)	13,675	17,200			
正規	11,766	16,015			
嘱託	1,910	1,185			
合計コスト +	56,204	58,150			
前年度比	-	103.5%			

事務事業評価票

事務事業名	妊婦一般健康推進事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	妊婦一般健康推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

母子の健康を保持増進するため、最低限必要となる健診を公費により支援し、経済的負担軽減を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 妊婦一般健康診査
妊娠中の異常を早期に発見し、母子の健康保持・増進を図るもの。
(受診者延数 21,989 人)
- 妊婦一般健康診査県外受診
里帰り等で県内で妊婦健康診査を受診できない方や登録外の助産所で受診された方に妊婦健康診査の費用の一部を助成するもの。
(助成者数 195 人)

< 現状に対する認識 >

妊娠中の妊婦の健康を維持し、安心・安全な分娩・出産に向け必要な事業

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			松本地域で協力した出産体制を維持
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	健診受診率(基本健診受診券発行枚数(14枚)に対する利用数の割合(%))				
指標の設定理由	妊娠期の異常を早期に発見し、母体や胎児の健康確保を図るため妊婦健診の受診率を向上させる				
目標値	85	85	85	85	85
実績値	86.2	80.6			
達成度	101.4%	94.8%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	214,137		213,988							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	214,137		213,988							
人件費(千円)	4,905	人工	8,149	人工		人工		人工		人工
正規	3,537	0.46	5,693	0.75						
嘱託	1,368	0.48	2,457	0.85						
合計コスト +	219,042		222,137							
前年度比	-		101.4%							

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	各種予防接種事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進		5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
				松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	各種予防接種事業

<事業の狙い>

事業計画年度

~

予防接種法に基づく定期予防接種の実施、及び任意予防接種への本市独自の助成制度をとおして、感染症の発生及びまん延の防止を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1	定期予防接種事業 予防接種法に基づき対象者個人に通知を発送し、県内医療機関における個別接種を行う。(H29接種率 96%) 里帰り出産等で県外で接種した際の償還払い制度(H28から開始)を推進する。 (H29実施数 49件)
2	任意予防接種事業 任意予防接種(おたふくかぜ、B型肝炎、高齢者肺炎球菌)のワクチン接種費用の一部助成を行い、対象者のワクチン接種を促す。 (H29接種率 おたふく85%) (H29接種数 高齢者肺炎球菌 70件 B型 5,326件)
3	新型インフルエンザ等対策 松本市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、新型インフルエンザ発生時における市内の医療体制や予防接種体制を検討し、新型インフルエンザ等対策を推進する。(H29 特定接種の登録事務)

<現状に対する認識>

子どもの定期予防接種率はほぼ横ばい状態で、現在感染症の蔓延はない。任意予防接種については29年度からB型肝炎ワクチンの助成対象を未就学児まで拡大したことから、より多くの子どもたちがワクチン接種できるように周知啓発を図っていく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	子どもの定期予防接種率(定期全体)				
指標の設定理由	子どもの定期予防接種全体の実施率を把握することができるため				
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	93.60%	96.46%			
達成度	93.6%	96.5%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	654,134	642,229			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	654,134	642,229			
人件費(千円)	26,031	21,422			
正規	18,764	2.44	13,966	1.84	
嘱託	7,268	2.55	7,456	2.58	
合計コスト +	680,165	663,651			
前年度比	-	97.6%			

事務事業評価票

事務事業名	介護予防普及啓発事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	介護予防普及啓発事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

～
介護予防への関心を高めるため、身近な地域で講座を開催し、より多くの市民に介護予防に関する知識や情報を提供する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 介護予防講座の実施
地区の実情に合わせ、地区担当保健師が地区関係職員と共に計画実施内容は、脳卒中予防および認知症予防・運動機能向上・口腔機能改善・栄養改善・こころの健康等介護予防に関わるいずれかの集団講話・集団実技

講座開催数 78回
講座参加延数 1918人

2 ひざ痛予防講座の実施
介護予防講座のうち、継続した取り組みへとつなげるために、12回コースの運動講座を実施。
ひざ痛予防の運動を主として行い、講座終了後は自主的に実施できるよう指導

講座開催数 4講座(×12回=48回)
講座参加延数 671人

< 現状に対する認識 >

開催数・参加者数ともにほぼ予定通り。現行では、介護予防講座とひざ痛予防教室の関係、自主グループ立ち上げについて、効率的、効果的でない。そこで、介護予防講座と言う単発的な教室の開催をやめ、住民自ら介護予防に取り組みたいと思い、行動できるよう支援する方法へ変更する。具体的には、JAGES等による地区分析を行い、介護予防の必要性を周知。自主的にやりたいと思う住民に対して運動指導を行なう。なお31年度以降から本事業は高齢福祉課で一括して実施する。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
			松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	介護予防講座開催数				
指標の設定理由	介護予防に関する知識の普及ができた回数				
目標値	118	118	48		
実績値	158	113			
達成度	133.9%	95.8%			
成果指標(指標名)	介護予防講座参加者数(人)				
指標の設定理由	介護予防に関する知識の普及ができた人数				
目標値	3,410	2,470	960		
実績値	3,113	2,205			
達成度	91.3%	89.3%			

目標値

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	1,576	1,505			
国・県	591	564			
利用者負担金	0	0			
その他	788	752			
一般財源	197	189			
人件費(千円)	20,850	13,516			
人工	2.5	1.48			
正規	19,225	11,233			
嘱託	1,625	2,283			
0.57	0.79				
合計コスト +	22,426	15,021			
前年度比	-	67.0%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	特定健康診査等事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進		5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
				松本版総合戦略		健康・医療産業の創出・育成

<予算上の位置付け>

会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	特定健康診査等事業

<事業の狙い>

事業計画年度

H25～H29

平成20年度から医療保険者に義務付けられたメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した特定健康診査と、その結果により階層化して指導を行う特定保健指導により、メタボリックシンドロームを早期に発見し生活習慣病の改善を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 特定健康診査の実施
法定の必須16項目に加えて、市独自追加項目として心疾患・痛風等の早期発見のために心電図・尿酸、空腹時血糖と、慢性腎不全・貧血等の早期発見のためにクレアチニン検査・貧血検査を実施。
・平成28年度特定健康診査受診者数 16,609人(受診率44.8%)
- 特定保健指導の実施
特定健康診査の結果から、生活習慣の発症リスクが高い方に対して医師や保健師、管理栄養士等が対象者一人ひとりの身体状況に合わせて生活習慣を見直すためのサポートを実施。
・平成28年度特定保健指導実施修了者数 756人(終了率46.1%)
- 人間ドック助成事業
(1) 助成内容
・人間ドック(日帰り) 15,000円 ・人間ドック(1泊2日) 20,000円
・脳ドック 15,000円 ・簡易脳ドック 10,000円
(2) 平成28年度実績 2,998人
- 第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)策定
生活習慣病対策等を進めることで被保険者の健康増進と医療費の適正化を図ることを目的に計画を策定した(H30～H35)

<現状に対する認識>

特定健康診査の経年受診率は微増している状況であるが、64歳未満の受診率が低いため、職域等での周知・啓発など受診率向上のための対策が必要である。
特定保健指導の終了率は年々向上しているため現在の取組を継続し、生活習慣の改善につなげるためのサポートを行う。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	特定健康診査受診率				
指標の設定理由	第二期松本市国民健康保険特定健康診査等実施計画の目標値(%)				
目標値	57.00%	60			
実績値	44.80%	実績値はH30.10以降に確定			
達成度	78.6%	-			
成果指標(指標名)	特定保健指導実施率(%)				
指標の設定理由	第二期松本市国民健康保険特定健康診査等実施計画の目標値(%)				
目標値	55.00%	60.00%			
実績値	46.10%	実績値はH30.10以降に確定			
達成度	83.8%	-			

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	147,870	196,480			
国・県	72,460	85,720			
利用者負担金					
その他					
一般財源	75,410	110,760			
人件費(千円)	0	人工 22,689	人工 2,54	人工	人工
正規		19,279	2,54		
嘱託		3,410	1,18		
合計コスト +	147,870	219,169			
前年度比	-	148.2%			

事務事業評価票

事務事業名	後期高齢者医療事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	後期高齢者医療事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

平成20年度から医療保険者に義務付けられた特定健康診査(法定)と同等の検査を実施し、糖尿病等の生活習慣病を早期に発見して治療に結びつけ、高齢者の生活の質を向上させるもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 後期高齢者健康診査事業
 法定の必須16項目の検査に加えて、市独自追加項目として、心疾患・痛風等の早期発見のために心電図・尿酸・空腹時血糖と慢性腎不全・貧血等の早期発見のためにクレアチニン・貧血検査を実施。
 ・平成28年度受診者数 15,542人(46.2%)

2 後期高齢者医療人間ドック等助成事業
 被保険者が、生活習慣病の早期発見及び早期治療により健康保持を図るため、人間ドック受診に要する費用に対し補助金を交付するもの。

(1)助成内容
 ・人間ドック(日帰り) 15,000円
 ・人間ドック(1泊2日) 20,000円
 ・脳ドック 15,000円
 ・簡易脳ドック 10,000円

(2)平成28年度実績
 603人

< 現状に対する認識 >

後期高齢者健康診査の受診目標率は設定していませんが、受診率は微増傾向にあり、メタボリックシンドロームの早期発見と生活習慣病を改善する観点から一定の成果が得られている。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	重点目標	1	健康ときずなづくり
	松本版総合戦略		健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	152,970		163,110							
国・県	122,190		125,440							
利用者負担金										
その他										
一般財源	30,780		37,670							
人件費(千円)	3,486	人工	3,469	人工		人工		人工		人工
正規	2,460	0.32	2,429	0.32						
嘱託	1,026	0.36	1,040	0.36						
合計コスト +	152,970		166,579							
前年度比	-		108.9%							

事務事業評価票

事務事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業

< 事業の狙い >

事業計画年度	27 ~
--------	------

糖尿病は進行すると様々な合併症を引き起こすとともに、患者の生活全般に大きな影響を及ぼすため、重症化を予防し、患者のQOLを維持するもの。
また、糖尿病性腎症から透析が必要となった場合、1人年間500万円の医療費がかかると言われており、国保財政の健全化を保つ面からも、医療費の適正化対策として重要です。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 実施内容
 - 2型糖尿病性腎症で治療中の人工透析導入前の国民健康保険被保険者に対し、重症化予防を目的とした保健事業を実施しています。
患者が通院する医療機関と連携し、薬局薬剤師が指導を行うもので、服薬・栄養・運動指導等の生活習慣や自己管理について6カ月間支援します。
- 健康づくり課の取り組み
 - (1) 地区担当保健師が、対象者に事業参加の働きかけを行いました。
 - (2) 重症化予防プログラム修了者のうち継続的な支援を希望する者に対し、市の管理栄養士が担当薬局薬剤師と連絡を取り合い、ともに栄養指導面の支援を行いました。
- 状況(実績)
 - (1) 協力医療機関
平成27年度 6施設、平成28年度 6施設、平成29年度 12施設
 - (2) 重症化予防プログラム実施者
平成27年度 16人、平成28年度 13人、平成29年度 10人
 - (3) 重症化予防プログラム修了者のうち継続的な支援を希望する者に対する栄養指導 3医療機関、4薬局(5薬剤師)の9名

< 現状に対する認識 >

・協力医療機関が限定されており、糖尿病性腎症のハイリスク者を抽出しても、その全てに事業参加を勧奨できる状態ではない。
・糖尿病や糖尿病性腎症についての認識が低く、事業を勧奨しても、なかなか事業に参加してもらえない。
・基本的に1回だけの栄養指導であるため、栄養改善に効果的な働きかけの方法の検討が必要

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		生活習慣病の予防と重症化予防の支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
			健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	糖尿病性腎症の腎症ステージの維持				
指標の設定理由	重篤化への進行を抑制できている状態が確認できるため				
目標値	13	10	30	30	30
実績値	13	10			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)	服薬率の向上				
指標の設定理由	指導の有効性が確認できるため				
目標値	99%	99%			
実績値	97%	99%			
達成度	98.0%	100.0%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	0	0			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	0	0			
人件費(千円)	0	人工	2,382	人工	
人工					
正規	2,384	0.31	2,353	0.31	
嘱託	29	0.01	29	0.01	
合計コスト +	0		2,382		
前年度比	-		-		

事務事業評価票

事務事業名	四肢筋力アップ検証事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	四肢筋力アップ検証事業

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

市長考案の四肢筋力アップ装置を活用した四肢筋力アップ運動の普及を図るため。
四肢筋力アップ運動によってロコモ予防を行うため。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 四肢筋力アップ運動を広く市民に伝達するために、体力づくりサポーターが四肢筋力アップ運動の方法と効果を学ぶ(全地区体力づくりサポーター)
- 主に、ふれあい健康教室において、「四肢筋健診」を実施し、体力測定と四肢筋力アップ運動の伝達を行う。

H29 実施地区 33地区

< 現状に対する認識 >

H30年度からは、身体活動維持向上事業の「体力健診」の一つとして実施する。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進		5つの重点目標	1	健康とさえずづくり
				松本版総合戦略		健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	四肢筋健診実施地区					
指標の設定理由	四肢筋力アップ運動(ロコモティブシンドローム予防)の啓発状況を確認					
目標値	35	35				
実績値	24	33				
達成度	68.6%	94.3%				
成果指標(指標名)	四肢筋健診参加者数					
指標の設定理由	四肢筋力アップ運動(ロコモティブシンドローム予防)の啓発状況を確認					
目標値	750	1225				
実績値	728	957				
達成度	97.1%	78.1%				

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	182		150							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	182		150							
人件費(千円)	1,681	人工	1,663	人工		人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2						
嘱託	143	0.05	145	0.05						
合計コスト +	0		873							
前年度比	-		-							